

倶知安町人口ビジョン

素案・案

平成 27 年 10 月

目次

第1章 地方人口ビジョン	1
1. 倶知安町人口ビジョンについて	1
(1) 人口ビジョン策定の目的	1
(2) 対象期間と推計ベース	1
(3) 将来人口の推計について	1
2. 全国と北海道の総人口	2
(1) わが国の人口推計と長期的な見通し	2
(2) 国と道の年齢3階層別人口の推移	3
第2章 人口と地域の現状	4
1. 総人口の推移について	4
(1) 年齢3階層別人口の推移	4
(2) 人口構成の変遷	5
(3) 自然増減・社会増減の推移	6
2. 人口動態について	8
(1) 子ども女性比の推移	8
(2) 合計特殊出生率の道内自治体との比較	9
(3) 年齢層別純移動数の推移	12
(4) 道内外別にみた人口移動の最近の状況	14
3. 地区別人口と世帯数について	16
(1) 地区別人口の現状	16
(2) 世帯数の推移	19
4. 地域経済の特性	20
(1) 労働力人口の状態	20
(2) 町財政の状況	21
(3) 倶知安町の産業 将来見通しについて	22
5. 倶知安町の人口推移からみた課題	26
第3章 倶知安町の将来人口	28
1. 将来人口推計	28
(1) 推計の前提と推計結果	28
(2) 試算ケース	29
(3) 試算結果のまとめ	35
(4) 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響	37
(5) 人口減少段階の分析	38
2. 地域に与える影響	40
(1) 産業・雇用	40

(2) 子育て・教育.....	40
(3) 福祉・介護・健康・医療.....	40
(4) 地域生活	41
(5) 行財政サービス	41
(6) 将来の人口構成について.....	42
第4章 将来展望の検討	43
1. 将来展望の基礎となる住民意識.....	43
(1) アンケートの概要	43
(2) アンケート結果の抜粋.....	43
2. 将来展望に関する現状認識について	48
3. 人口減少の克服を目指す取組の方向性	49
(1) 人口減少に歯止めをかける.....	49
(2) 若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備.....	49
(3) 自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。.....	49
4. 人口の将来展望.....	50

第1章 地方人口ビジョン

1. 俱知安町人口ビジョンについて

(1) 人口ビジョン策定の目的

「俱知安町人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を尊重し、俱知安町の人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。同時に、「俱知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の前提となるビジョンです。

(2) 対象期間と推計ベース

人口ビジョンは、国勢調査による人口をベースとし、必要に応じて住民基本台帳による人口やその他資料を用いて分析、推計を行います。また、短期目標を2020年、中期目標を2040年、長期目標を2060年とします。

(3) 将来人口の推計について

将来人口の推計については、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）による『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』、日本創成会議事務局による推計値（ただし2040年まで）を参考としながら、独自の推計を行い、人口の将来展望を示します。

※技術的な注釈と用語の説明

【端数処理について】

人口ビジョンにおける人口の将来推計値、その他比率等の端数については、数表の内数の見かけ上の和と合計数が一致しない場合があります。

【合計特殊出生率（TFR:Total Fertility Rate）】とは、ある期間（年間など）に生まれた子どもの数について母の年齢別に出生率を求め合計したものです。仮想的に1人の女性が一生に生む子どもの数を計算したものとと言えます。

【子ども女性比(CWR:Child-Woman Ratio)】

ある時点での、0歳から4歳までの人口と出産年齢（15歳から49歳）の女性人口の比率。0-4歳人口の推計には、出生率の仮定値が必要であるが、出生率は年による変動が大きいことから、社人研・創成会議による推計では、出生率の代替指標として、将来における子ども女性比を想定することによって出生児数の推計を行っています。この人口ビジョンの骨格をなす推計もこれに従っており、合計特殊出生率と子ども女性比の換算比率を利用してシミュレーションを行っています。

2. 全国と北海道の総人口

(1) わが国の人口推計と長期的な見通し

○国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））によると、2060年の総人口は、約8,700万人まで減少すると見通されている

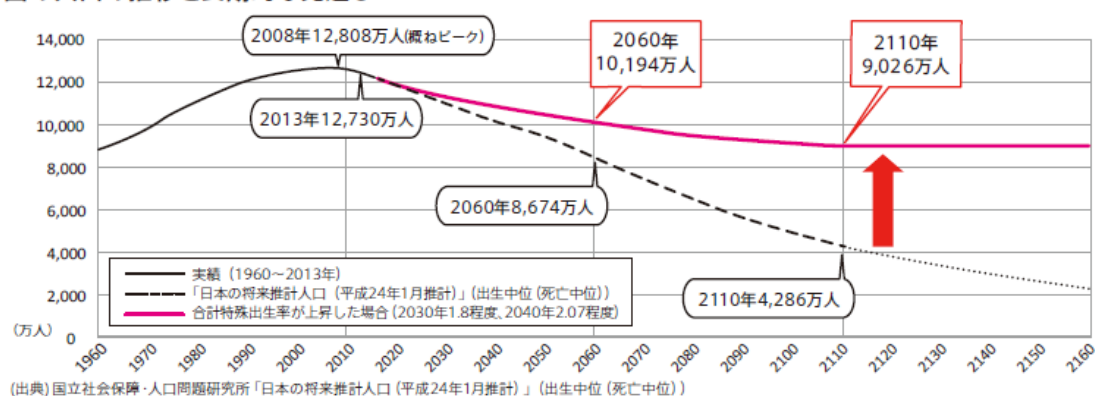
○仮に、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度（2020年には1.6程度）まで上昇すると、2060年の人口は約1億200万人となり、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移するものと推計される

○なお、仮に、合計特殊出生率が1.8や2.07となる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口が概ね300万人程度少なくなると推計される。

【定常人口】

出生率が人口置換水準で一定となったのち、人口規模がおおむね安定して推移することとなった状態における人口。

我が国の人口の推移と長期的な見通し



人口問題に対する基本認識（国「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」より抜粋）

◎国民の認識の共有が最も重要

日本は「人口減少時代」に突入している。人口減少は、「静かなる危機」と呼ばれるように、日々の生活においては実感しづらい。しかし、このまま続けば、人口は急速に減少し、その結果、将来的には経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、究極的には国としての持続性すら危うくなるのである。「どうにかなるのではないか」というのは、根拠なき楽観論であると言わざるを得ない。

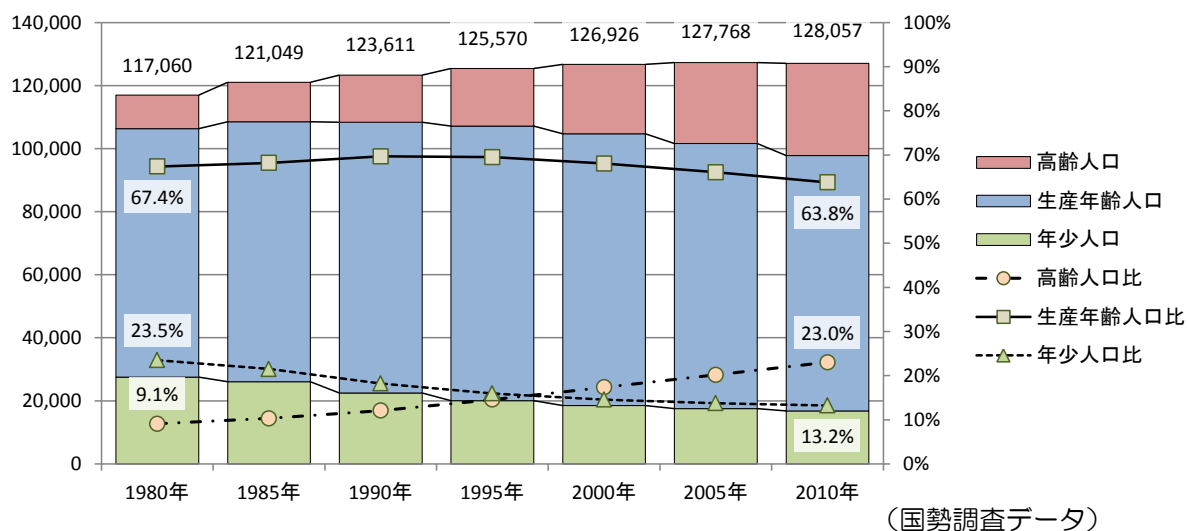
この危機的な状況を眼前にして、我々はただ立ちすくんでいるわけにはいかない。厳しい現実を正面から受け止め、断固たる姿勢で立ち向かわなければならない。そのためには、まず国民に対して人口の現状と将来の姿について正確な情報を提供し、地方をはじめ全国各地で率直に意見を交わし、認識の共有を目指していくことが出発点となる。そして、広く国民の理解を得て、この困難な課題に国と地方公共団体が力を合わせて取り組んでいくことが、何よりも重要である。

（２）国と道の年齢３階層別人口の推移

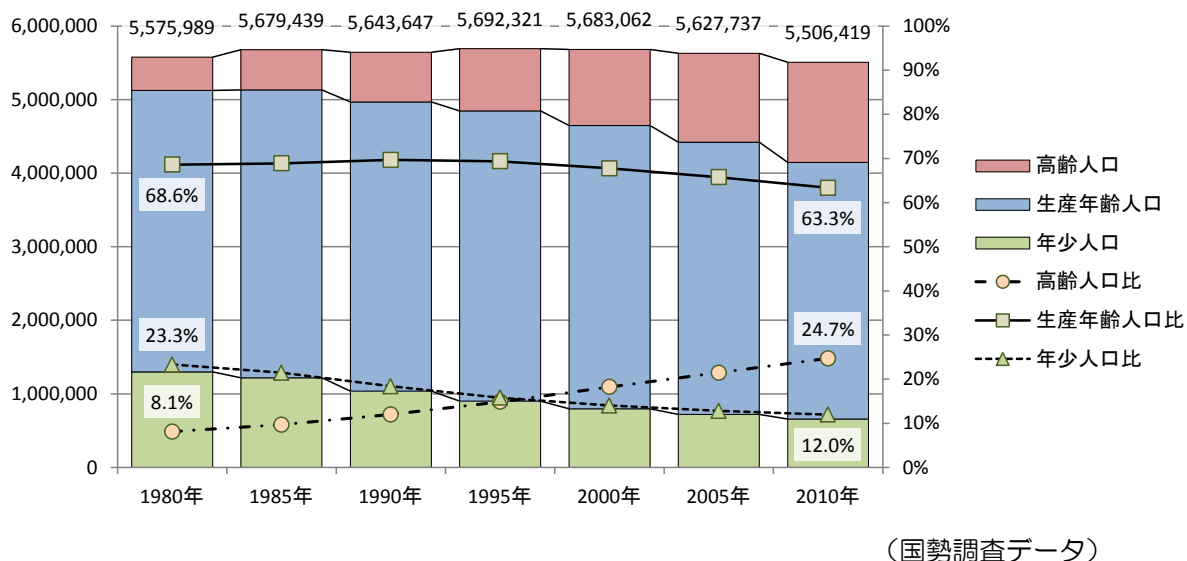
この 30 年間の全国と北海道の総人口の推移を国勢調査結果によってみると、全国は緩やかながら増加傾向で推移しています。一方、北海道は 1995 年に総人口のピークを迎えており、年少人口の急速な減少と高齢人口の増加を示しています。2010 年の年少人口比は全国で 13.2%、北海道で 12.0%、同じく生産年齢人口比は全国で 63.8%、北海道で 63.3%、同じく高齢人口比は全国で 23.0%、北海道で 24.7%となっています。

これらの人口と比率は、倶知安町の総人口と人口動向を分析する上での基準となります。

全国の総人口と３階層別人口の推移（千人）



北海道総人口と３階層別人口の推移（人）



第2章 人口と地域の現状

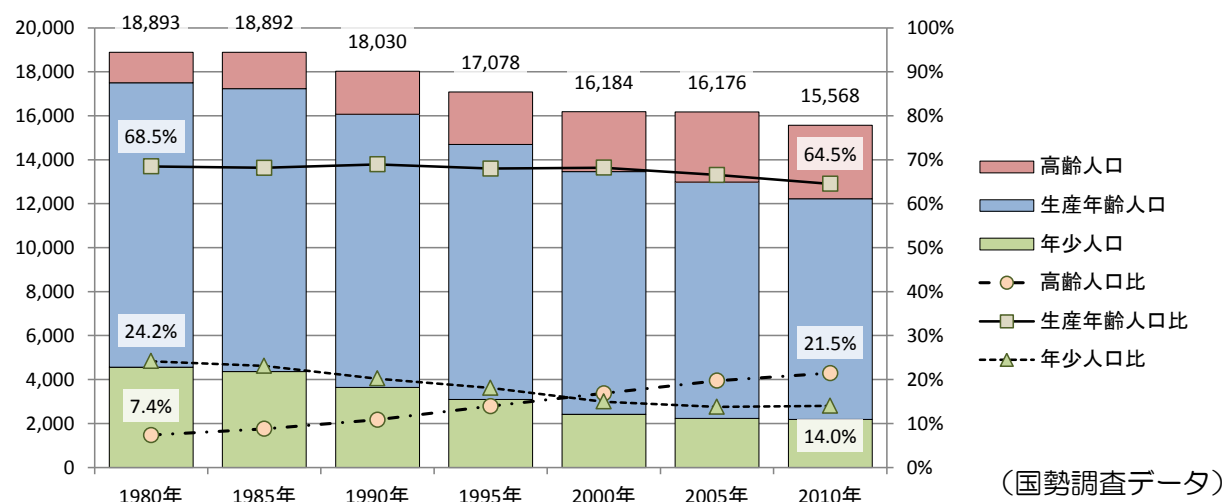
1. 総人口の推移について

(1) 年齢3階層別人口の推移

俱知安町の総人口は、1980年から2010年までの30年間で3,325人減少しました。5年ごとの減少率は平均▲2.9%、年率で▲0.6%でした。

この30年間で年齢層の構成比でみると、生産年齢人口（15～64歳）は1980年の68.5%から64.5%へ4.0ポイント低下、年少人口（0～14歳）は同じく24.2%から14.0%へ10.2ポイント低下、高齢人口（65歳以上）は同じく7.4%から21.5%へ14.1ポイント上昇となっています。

俱知安町 3階層別人口の推移（1980年～2010年）（人）



俱知安町 3階層別人口の推移（1980年～2010年）

	人口（人）				構成比率（％）		
	総人口	年少人口	生産年齢人口	高齢人口	年少人口比	生産年齢人口比	高齢人口比
1980年	18,893	4,567	12,937	1,389	24.2%	68.5%	7.4%
1985年	18,892	4,359	12,875	1,658	23.1%	68.2%	8.8%
1990年	18,030	3,640	12,432	1,958	20.2%	69.0%	10.9%
1995年	17,078	3,089	11,608	2,381	18.1%	68.0%	13.9%
2000年	16,184	2,421	11,038	2,725	15.0%	68.2%	16.8%
2005年	16,176	2,226	10,760	3,190	13.8%	66.5%	19.7%
2010年	15,568	2,181	10,045	3,342	14.0%	64.5%	21.5%

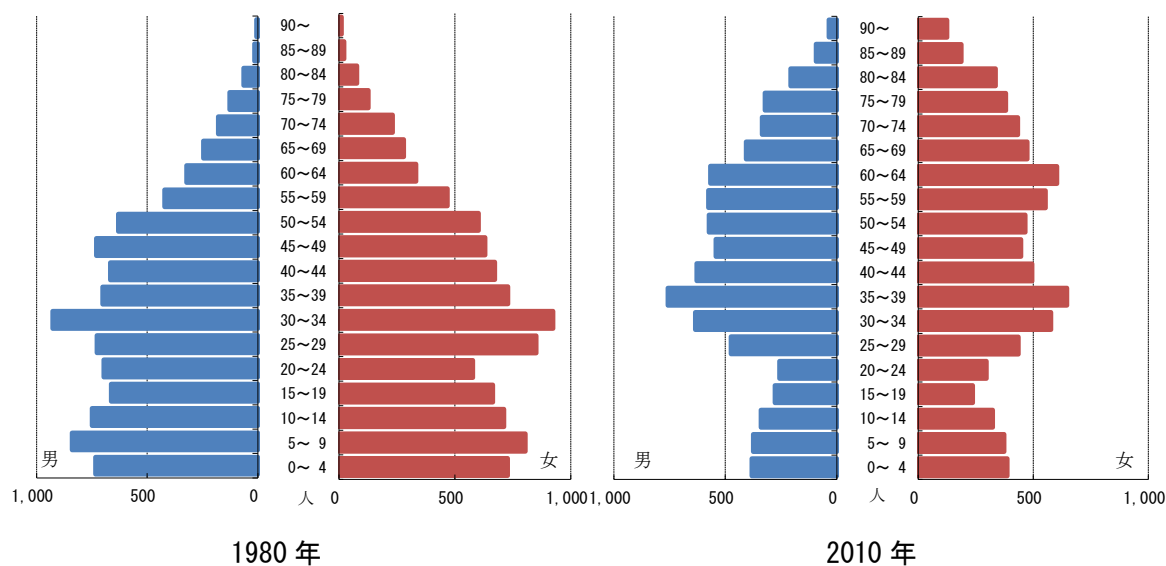
（２）人口構成の変遷

1980 年およびその 30 年後にあたる 2010 年の俱知安町の性・年齢別人口構成の変化は下図・表に示すとおりです。1980 年にはいわゆる団塊の世代が 30 歳代で、その子世代（団塊ジュニア）も 5～9 歳を中心に多くなっていました。同時に、15～29 歳の社会的自立期の年代（とくに男性）が少なく、町外へ多くの若者が流出していた状況がうかがえます。

一方、2010 年では、35 歳から 39 歳が男女ともにすべての世代の中でもっとも多い年齢層となっているのに対し、24 歳以下の世代が極端に少ない形になっています。

ここから 30 年後の 2040 年、50 年後の 2060 年に、どのように少子高齢化を乗り越え、バランスのとれた人口構成を目指すのかが問われています。

俱知安町性・年齢別人口構成の変遷



俱知安町性・年齢別人口構成の変遷（人）

	1980年		2010年	
	男性	女性	男性	女性
0～ 4	734	728	381	387
5～ 9	840	804	375	373
10～14	750	711	341	324
15～19	663	664	278	237
20～24	696	577	257	296
25～29	727	851	475	436
30～34	928	923	635	577
35～39	702	729	758	646
40～44	667	672	628	495
45～49	730	630	543	446
50～54	631	602	574	465
55～59	422	468	576	553
60～64	322	333	567	603
65～69	247	280	407	474
70～74	179	231	336	433
75～79	128	127	323	381
80～84	64	78	208	336
85～89	16	22	94	188
90～	6	11	36	126
総数	9,452	9,441	7,792	7,776

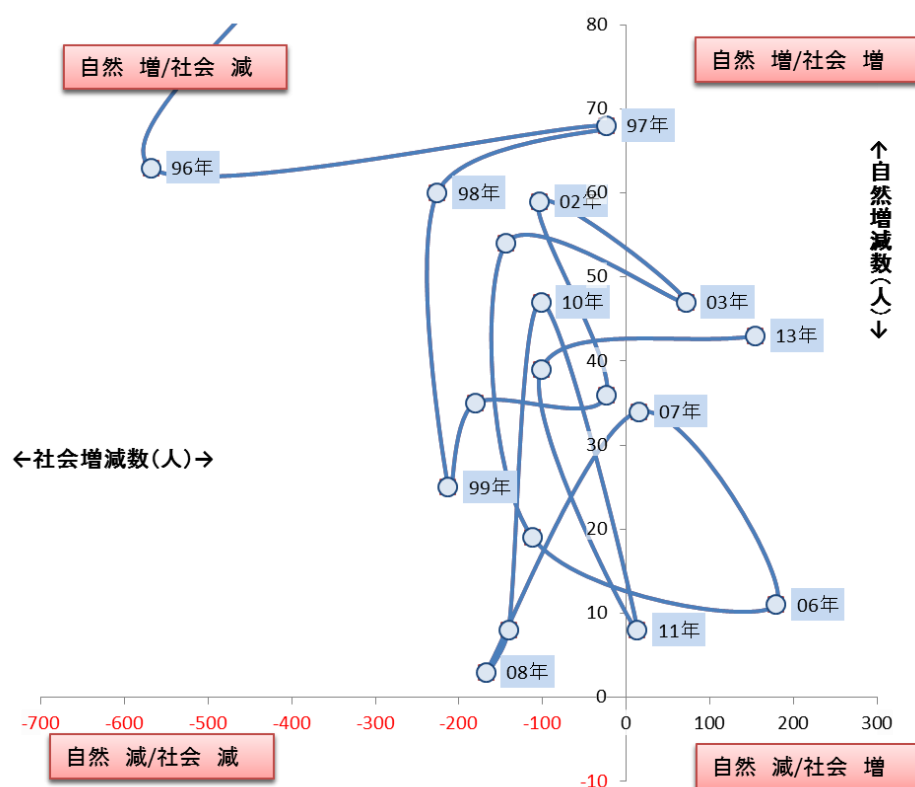
（国勢調査データ）

(3) 自然増減・社会増減の推移

住民基本台帳に基づく出生数は1995年度の223人をピークに減少が続きましたが、2008年度の139人を底に上昇に転じ、2013年度には181人となっています。他方、死亡数は1995年度以降やや微増傾向で2006年度に161人となりましたが、2007年度以降は130人台でほぼ横ばいです。自然増減は、ここ20年間自然増で推移しています。

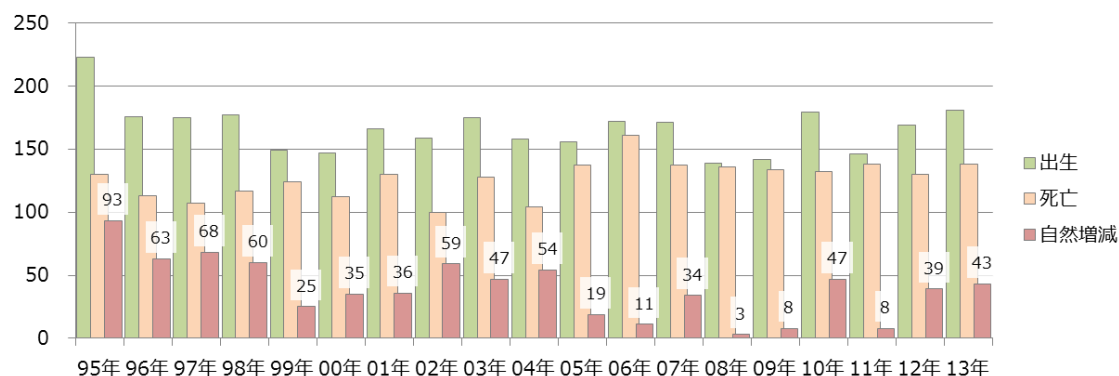
社会増減については、1995年度以降、転入はほぼ横ばいで推移し、転出は1996年をピークにやや減少傾向となっており、1996年の568人減少をピークに減少の傾向は低くなっています。

倶知安町 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響

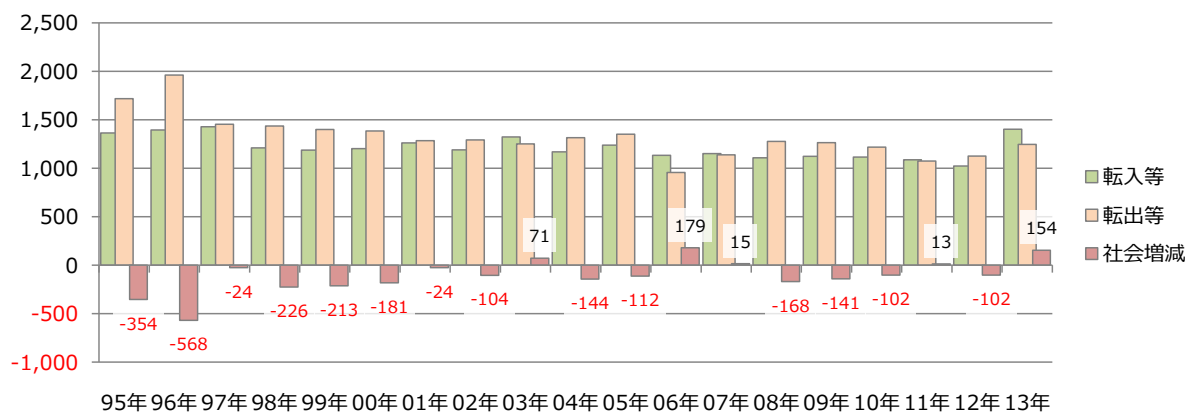


倶知安町 出生・死亡、転入・転出の推移

■自然増減（人）



■社会増減（人）



倶知安町 出生・死亡、転入・転出の推移

(年度)	自然増減			社会増減		
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
95年	223	130	93	1,364	1,718	-354
96年	176	113	63	1,394	1,962	-568
97年	175	107	68	1,429	1,453	-24
98年	177	117	60	1,210	1,436	-226
99年	149	124	25	1,186	1,399	-213
00年	147	112	35	1,202	1,383	-181
01年	166	130	36	1,261	1,285	-24
02年	159	100	59	1,189	1,293	-104
03年	175	128	47	1,323	1,252	71
04年	158	104	54	1,170	1,314	-144
05年	156	137	19	1,238	1,350	-112
06年	172	161	11	1,134	955	179
07年	171	137	34	1,152	1,137	15
08年	139	136	3	1,108	1,276	-168
09年	142	134	8	1,122	1,263	-141
10年	179	132	47	1,115	1,217	-102
11年	146	138	8	1,088	1,075	13
12年	169	130	39	1,023	1,125	-102
13年	181	138	43	1,401	1,247	154

(総務省 住民基本台帳人口移動報告)

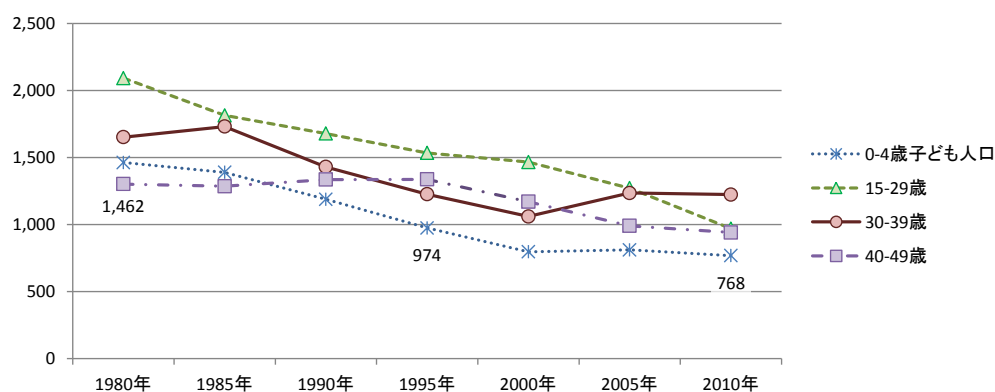
2. 人口動態について

(1) 子ども女性比の推移

俱知安町の0-4歳子ども人口は、1980年の1,462人から2010年の768人まで減少傾向が続いてきました。同じ期間の15-49歳女性人口は1980年の5,046人から2010年の3,133人まで減少傾向が続いています。子ども女性比(CWR)は、1980年の0.290から2000年の0.216へ減少した後、2010年の0.245へ微増傾向を見せています。

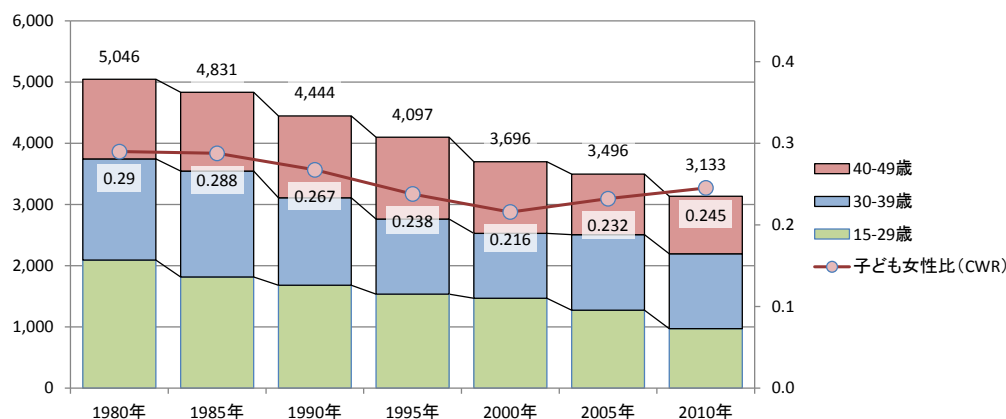
俱知安町 0-4歳子ども人口・15-49歳女性人口などの推移

人口（人）



女性人口（人）

子ども女性比（CWR）



俱知安町 0-4歳子ども人口・15-49歳女性人口などの推移（人）

	0-4歳子ども人口	15-49歳女性人口			計	子ども女性比 (CWR)
		15-29歳	30-39歳	40-49歳		
1980年	1,462	2,092	1,652	1,302	5,046	0.290
1985年	1,389	1,814	1,731	1,286	4,831	0.288
1990年	1,188	1,679	1,430	1,336	4,444	0.267
1995年	974	1,534	1,226	1,337	4,097	0.238
2000年	797	1,466	1,060	1,170	3,696	0.216
2005年	811	1,271	1,235	990	3,496	0.232
2010年	768	969	1,223	941	3,133	0.245

（国勢調査データ）

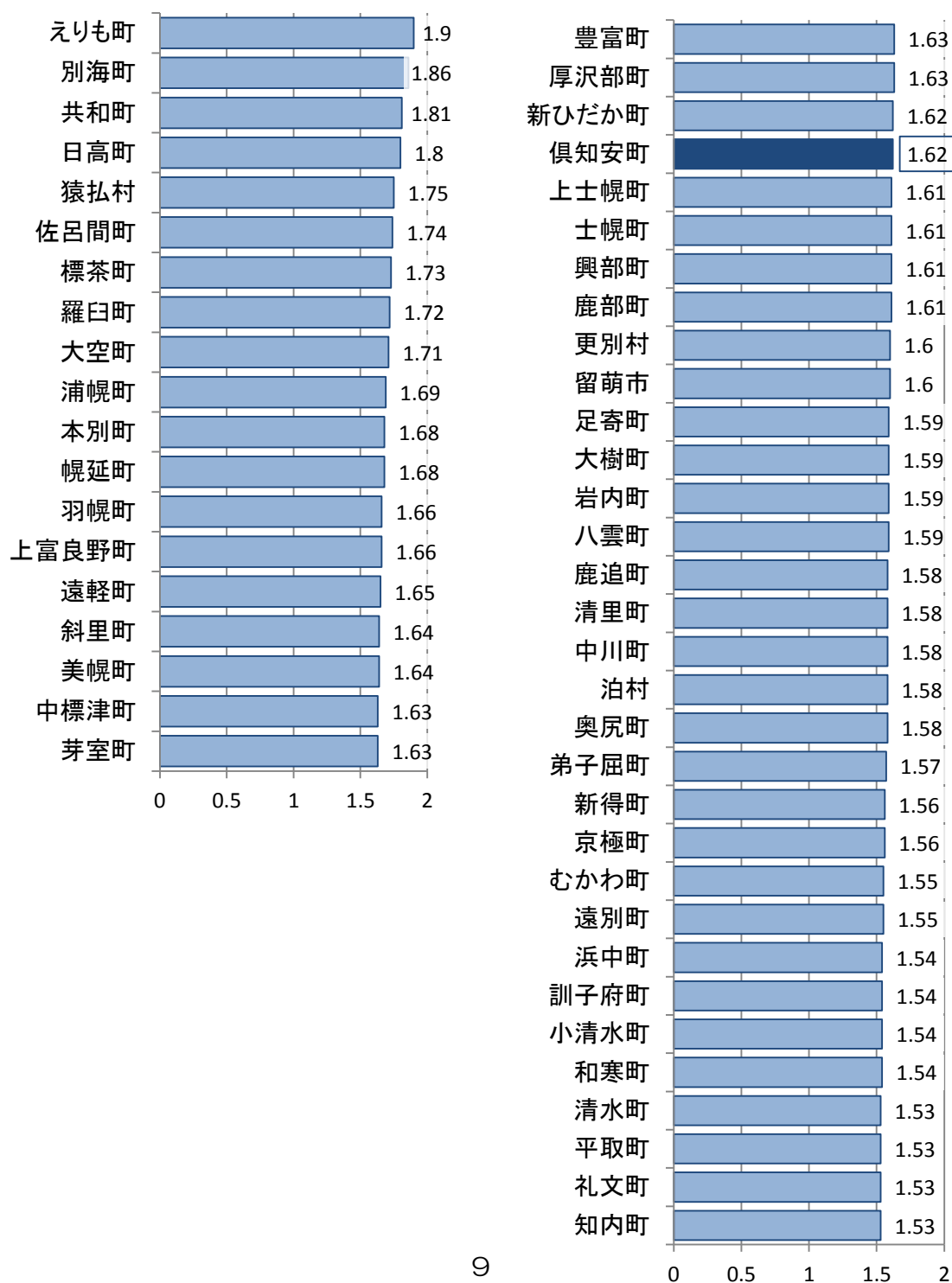
（２）合計特殊出生率の道内自治体との比較

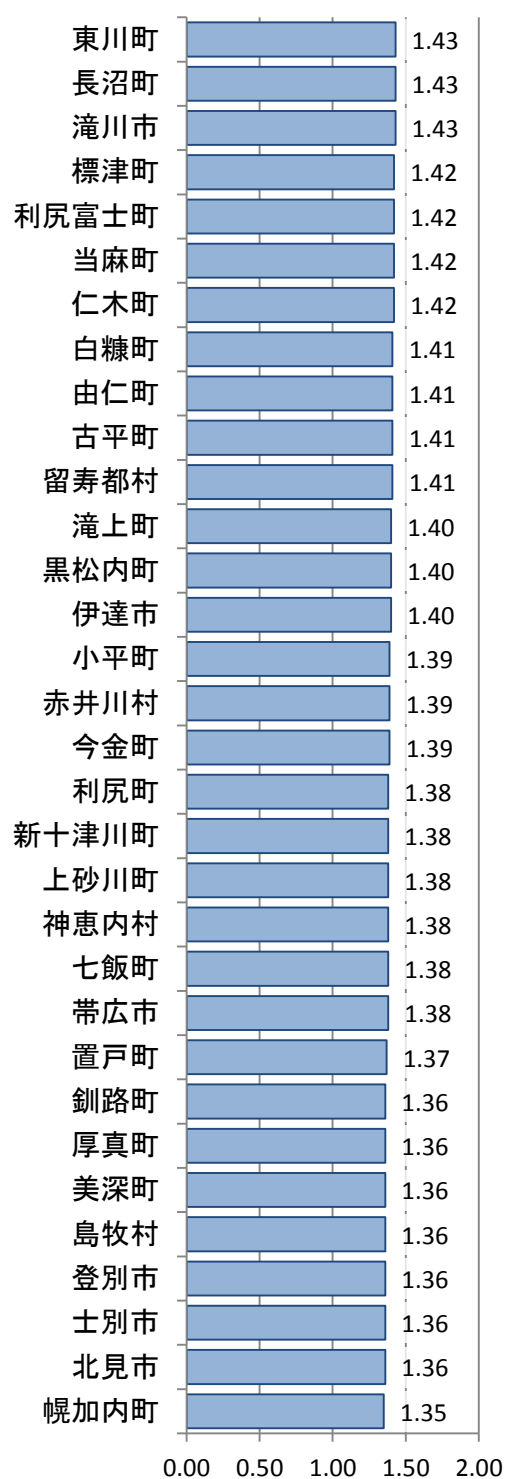
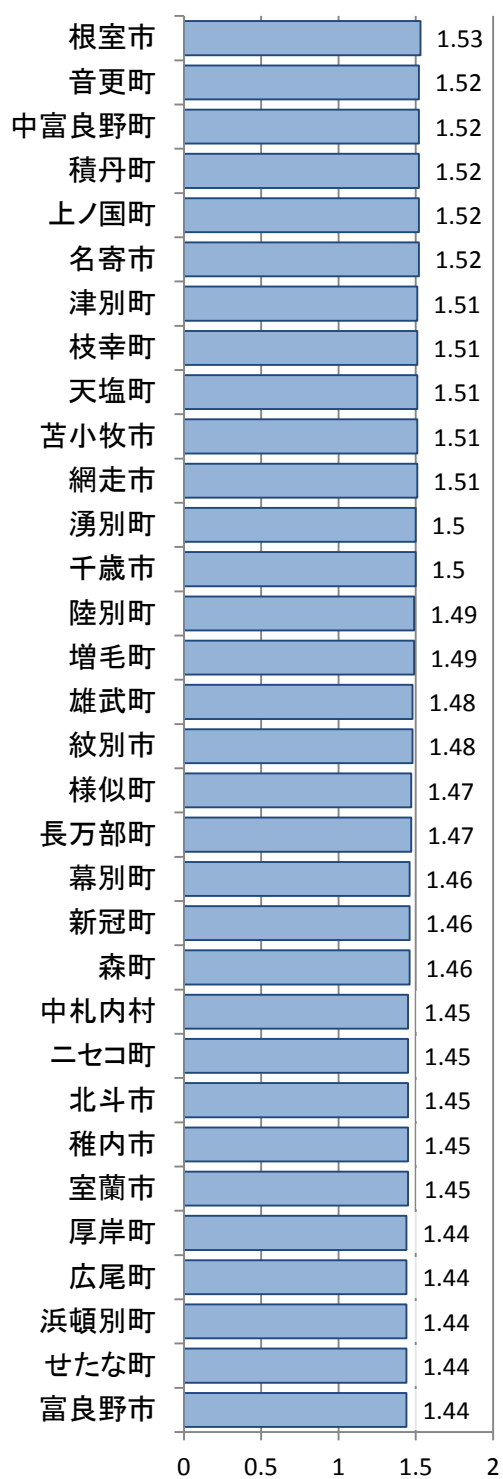
倶知安町の 2008 年から 2012 年の期間における合計特殊出生率（ベイズ推定値）は 1.62 となっており、道内の 179 市町村において 23 番目の高さとなっています。

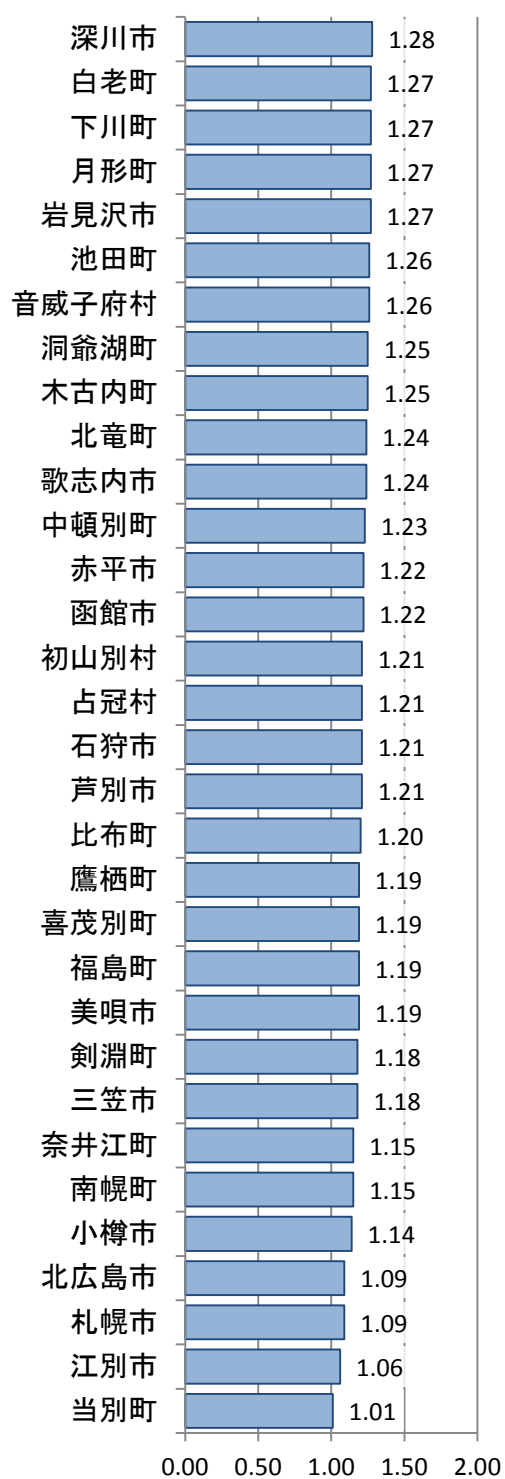
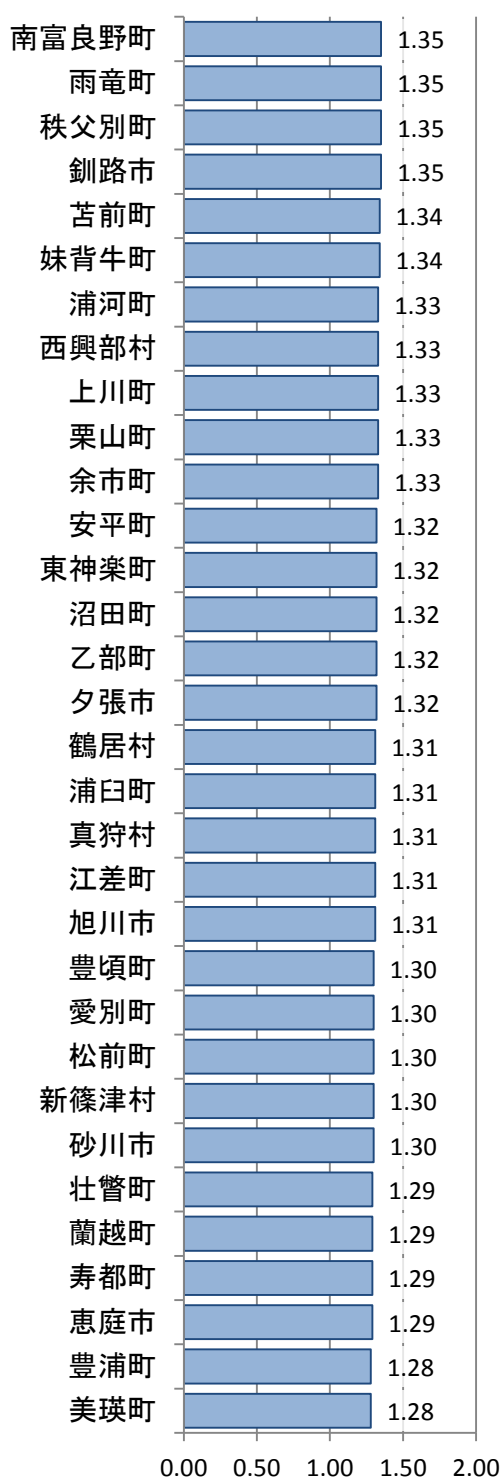
【ベイズ推定値】

合計特殊出生率を算定するにあたって、女性の年齢別出生率の母数となる女性人口が小規模で出生率にバラつきが大きくなることを補正するため、周辺の二次医療圏グループの情報を加味する統計手法です。

倶知安町 合計特殊出生率の道内自治体との比較







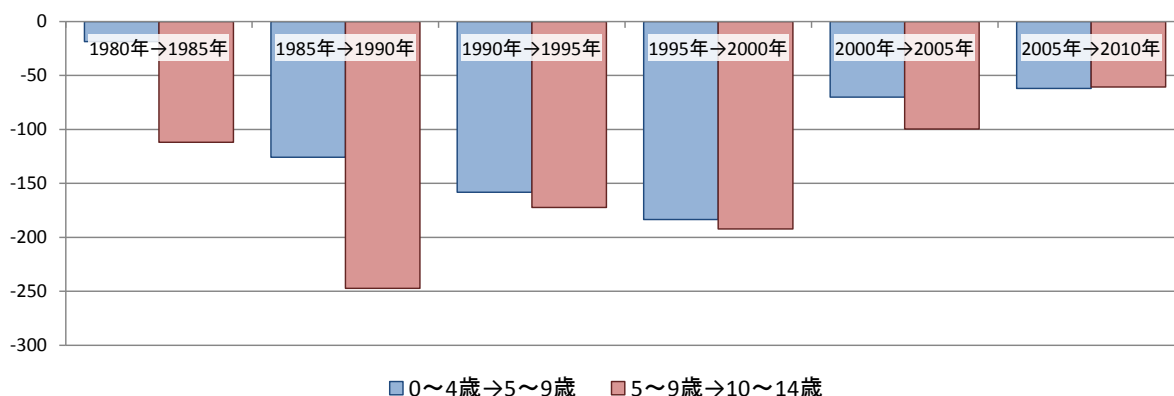
（３）年齢層別純移動数の推移

純移動（転入－転出）数は、年齢層によって基本的異なる特徴を持ちます。ここでは、（期末年次）1985年から2010年まで各5年ごとの期間について、年齢層別に純移動数の変化をみていきます。

俱知安町 年齢層別純移動数の推移

【年少期 0～9歳→5～14歳】 （人）

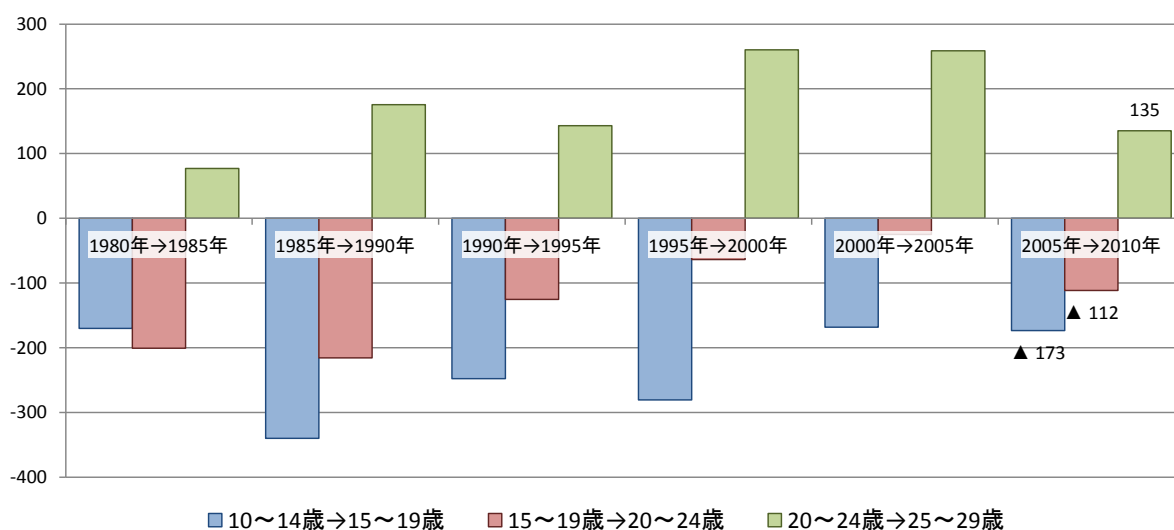
年少期では、すべての期間において転出が上回っています。2000年以降、純移動数の減少はやや収まっています。



（国勢調査）

【社会的自立期 10～24歳→15～29歳】 （人）

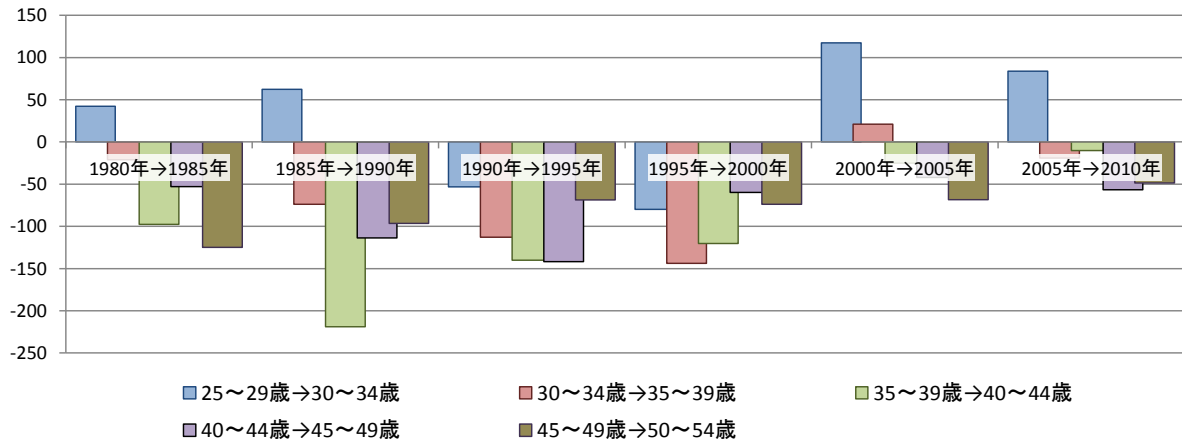
高校・大学などを卒業し、進学・就職する時期を社会的自立期としてみると、俱知安町では期末年齢・15～19歳、20～24歳においては転出が上回り、期末年齢・25～29歳においては転入が多いことが分かります。



（国勢調査）

【現役期 25～45 歳→30～50 歳】 （人）

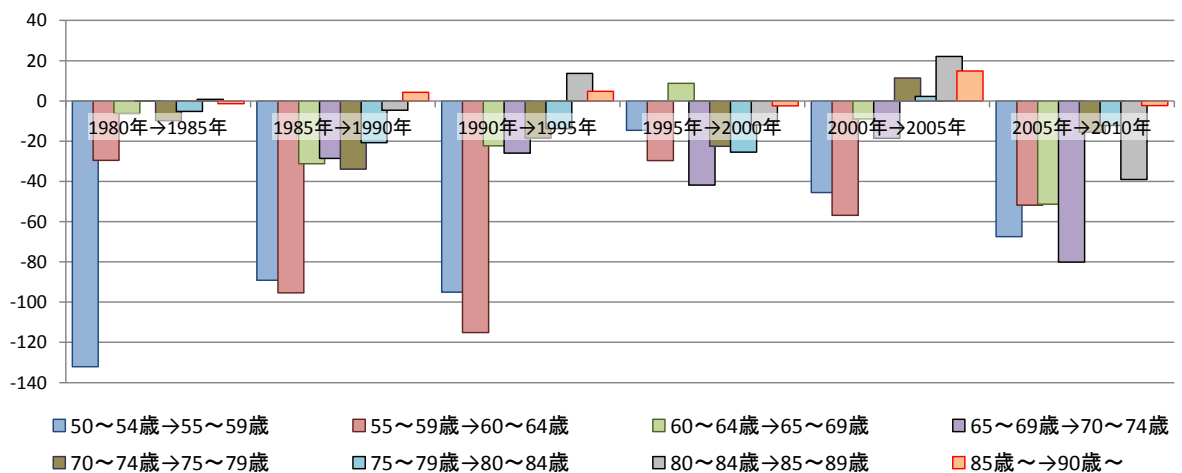
期末年齢・30～34 歳において、近年、転入が転出を上回っています。それ以外の現役期においてはほぼすべての年代で転出が転入を上回っており、社会減の傾向がありますが、2000 年以降その傾向は弱まっています。



（国勢調査）

【熟年期・長寿期 50～85 歳→55～90 歳】 （人）

時期や年齢によって増減があるものの、おしなべて社会減の傾向です。



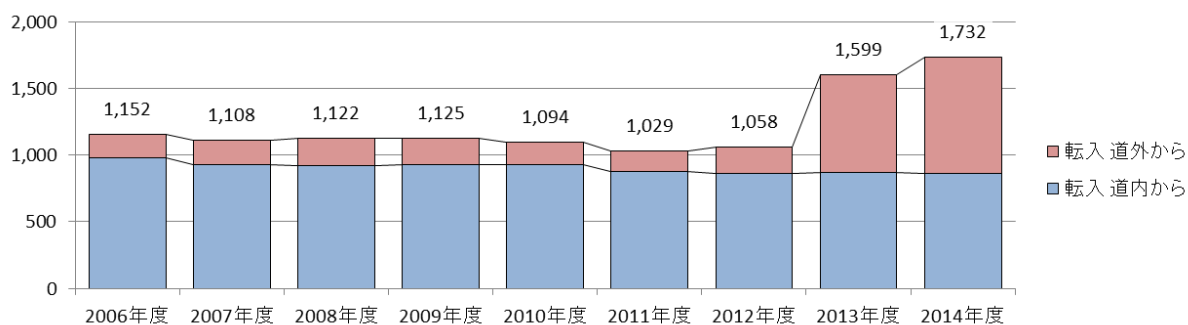
（国勢調査）

（４）道内外別にみた人口移動の最近の状況

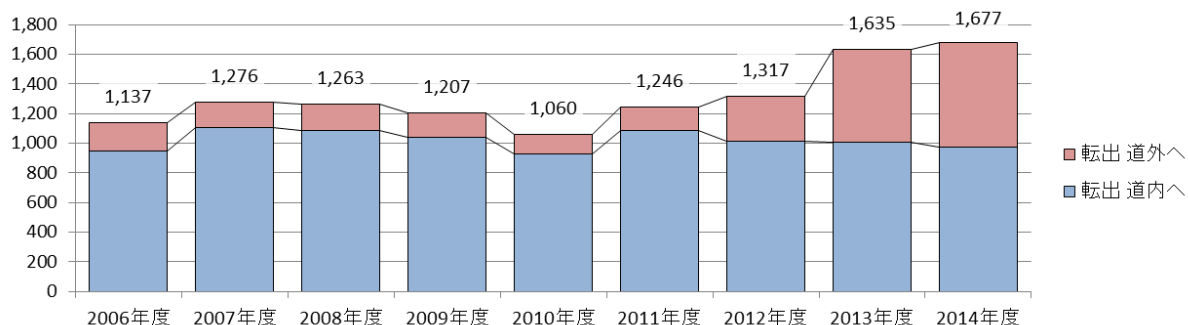
道内外別にみた人口移動の状況をみると、転入は 2011 年を底として回復傾向に転じています。一方、転出は 2010 年に減少した後再び増加傾向となっています。なお、2012 年 7 月から外国人登録が廃止され、外国籍住民についても住民基本台帳で登録をする制度変更がありました。そのため統計上 2013 年から転出入どちらも増加しています。

倶知安町 道内外別にみた人口移動の最近の状況

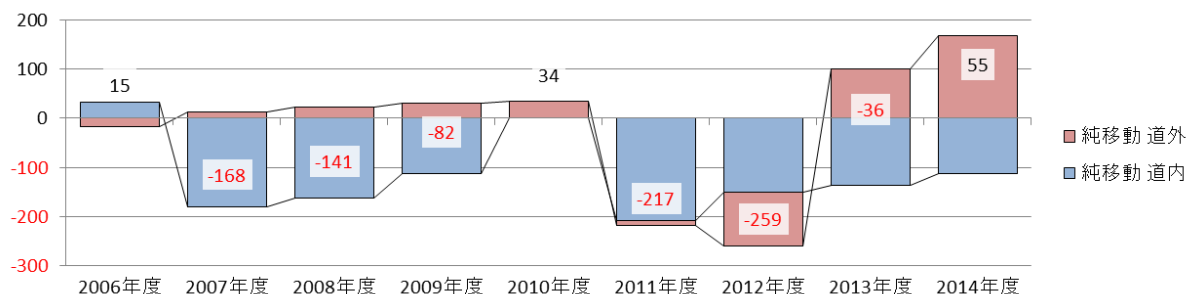
【転入数】 （単位：人、出所：住民基本台帳）



【転出数】 （単位：人、出所：住民基本台帳）



【純移動数】 （単位：人、出所：住民基本台帳）



倶知安町 道内外別にみた人口移動の最近の状況（単位：人、出所：住民基本台帳）

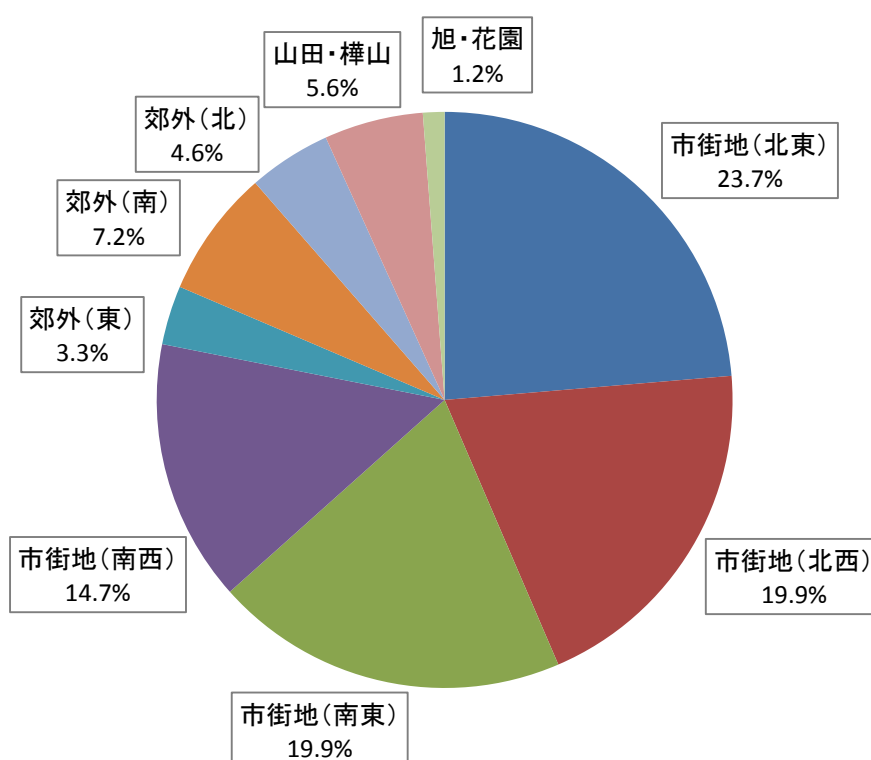
	転入（A）			転出（B）		
	道内から	道外から	計	道内へ	道外へ	計
2005年度			1,134			1,363
2006年度	977	175	1,152	945	192	1,137
2007年度	926	182	1,108	1,106	170	1,276
2008年度	921	201	1,122	1,084	179	1,263
2009年度	924	201	1,125	1,036	171	1,207
2010年度	924	170	1,094	924	136	1,060
2011年度	876	153	1,029	1,084	162	1,246
2012年度	861	197	1,058	1,011	306	1,317
2013年度	871	728	1,599	1,007	628	1,635
2014年度	859	873	1,732	972	705	1,677

3. 地区別人口と世帯数について

(1) 地区別人口の現状

倶知安町について、9地区別にみた2014年10月2日現在の人口は以下のとおりとなっています（住民基本台帳による人口）。市街地4地区で全人口の78.2%を占めています。

倶知安町の地区区分

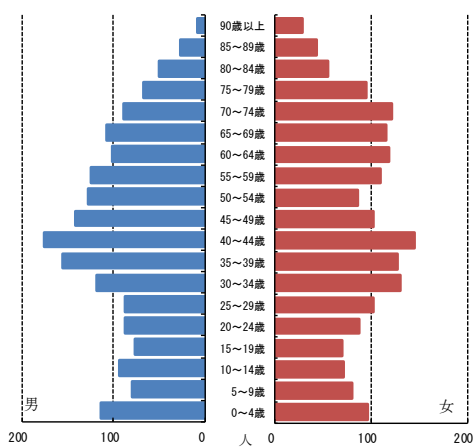


倶知安町の地区区分

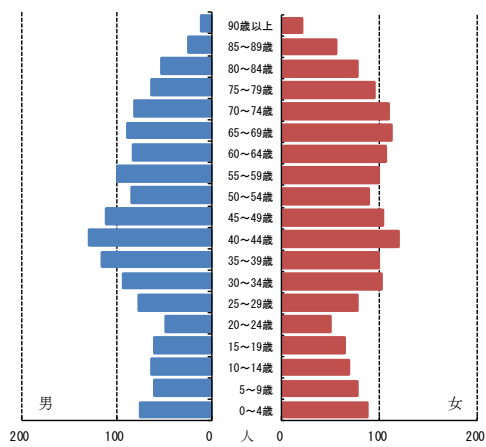
市街地	市街地(北東)	北〇条東〇丁目
	市街地(北西)	北〇条西〇丁目
	市街地(南東)	南〇条東〇丁目
	市街地(南西)	南〇条西〇丁目
郊外	郊外(東)	巽 寒別 八幡 豊岡
	郊外(南)	岩尾別 高砂 比羅夫 富士見
	郊外(北)	琴平 高見 出雲 瑞穂 大和 峠下 扶桑 末広
	山田・樺山	山田 樺山
	旭・花園	旭 花園

倶知安町 地区別にみた性・年齢別人口構成

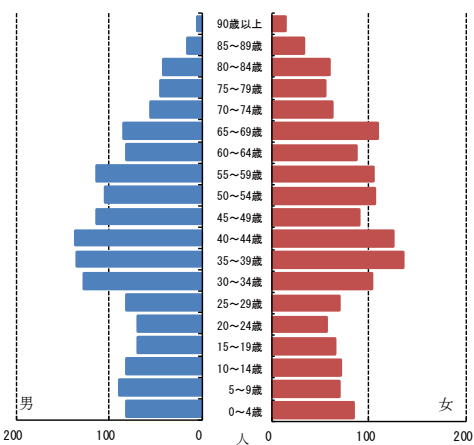
市街地（北東）



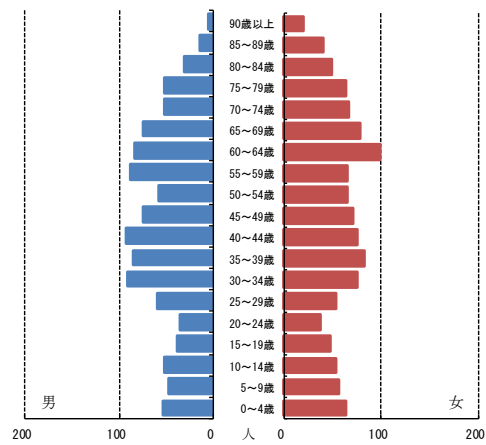
市街地（北西）



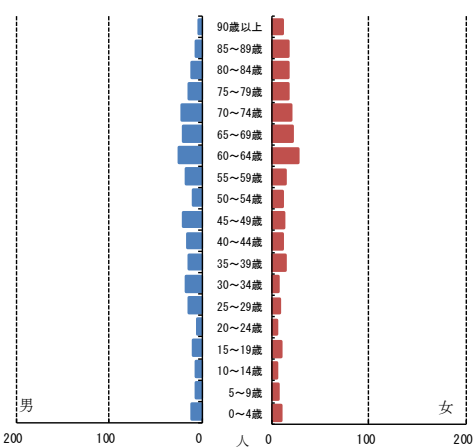
市街地（南東）



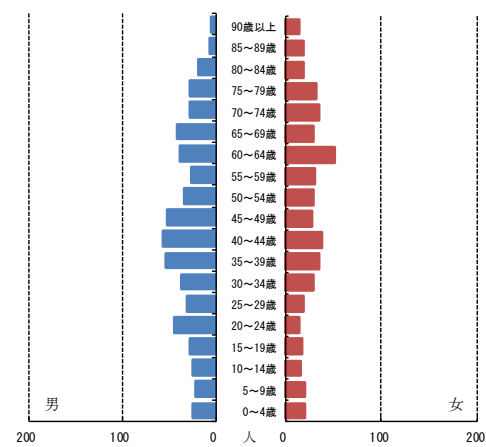
市街地（南西）



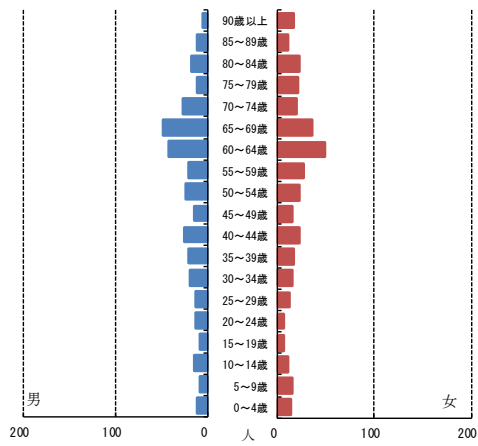
郊外（東）



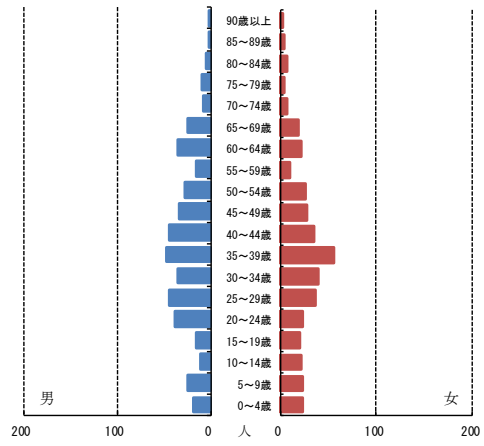
郊外（南）



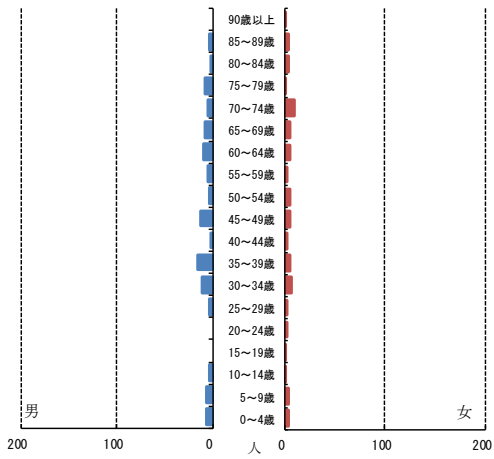
郊外（北）



山田・樺山



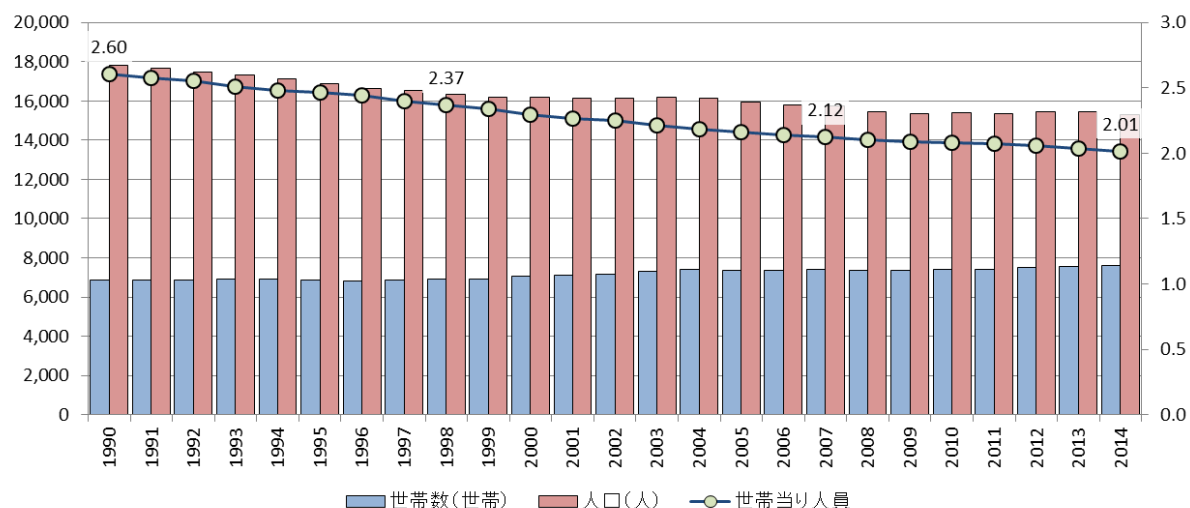
旭・花園



（２）世帯数の推移

住民基本台帳による俱知安町の世帯数は、1990 年の 6,854 世帯から 2014 年には 7,600 世帯に増加しました。同じ期間に、世帯当り人員は 2.60 人から 2.01 人に減少しており、世帯規模が次第に小さくなってきていることがわかります。

俱知安町 世帯数の推移（単位：人、出所：住民基本台帳）



俱知安町 世帯数の推移（各年 9 月末基準）

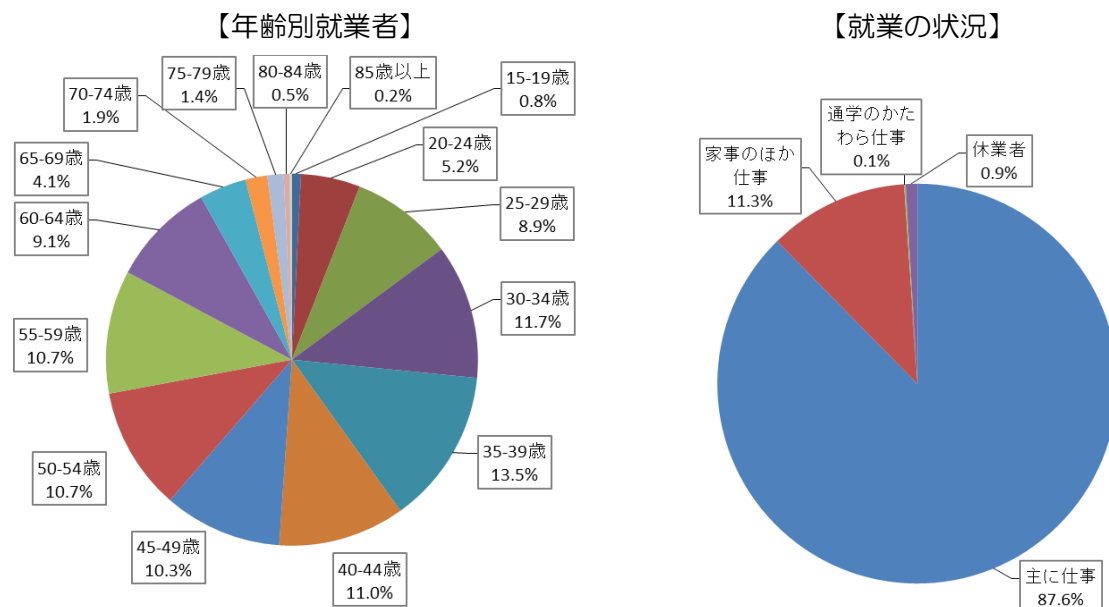
	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯当り 人員
1990	6,854	17,833	2.60
1991	6,862	17,660	2.57
1992	6,852	17,489	2.55
1993	6,911	17,336	2.51
1994	6,899	17,126	2.48
1995	6,851	16,884	2.46
1996	6,811	16,620	2.44
1997	6,885	16,516	2.40
1998	6,901	16,322	2.37
1999	6,930	16,184	2.34
2000	7,051	16,166	2.29
2001	7,128	16,122	2.26
2002	7,170	16,113	2.25
2003	7,306	16,165	2.21
2004	7,386	16,140	2.19
2005	7,374	15,956	2.16
2006	7,369	15,779	2.14
2007	7,417	15,733	2.12
2008	7,342	15,458	2.11
2009	7,357	15,352	2.09
2010	7,398	15,384	2.08
2011	7,406	15,353	2.07
2012	7,510	15,451	2.06
2013	7,580	15,423	2.03
2014	7,600	15,297	2.01

（住民基本台帳）

4. 地域経済の特性

(1) 労働力人口の状態

2010年国勢調査による俱知安町の労働力人口の状態は、以下に示す通りとなっています。



俱知安町 労働力人口の状態

(2010年10月1日現在 国勢調査、人)

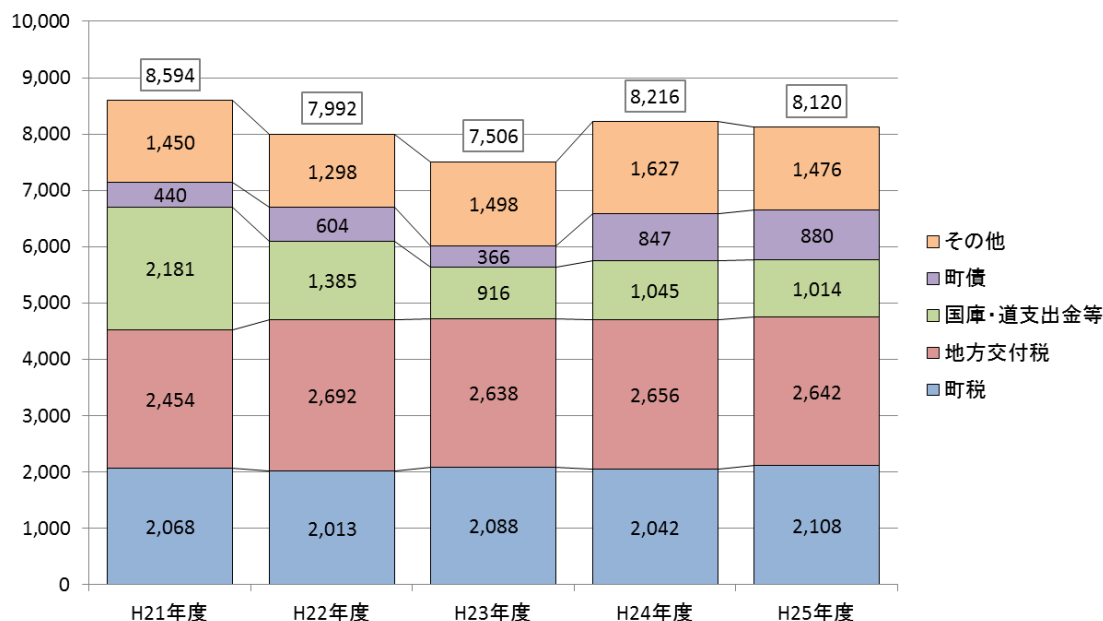
年齢（5歳階級）	総数※ （A）	総数 （B）	労働力人口						非労働力人口	労働力率 B/A	完全失業率C/B
			就業者					完全失業者（C）			
			総数	主に仕事	家事のほか仕事	通学のかたわら仕事	休業者				
総数	13,387	8,645	8,049	7,053	911	10	75	596	4,742	64.6	6.9
15-19歳	515	82	63	54		9		19	433	15.9	23.2
20-24歳	553	486	415	403	9		3	71	67	87.9	14.6
25-29歳	911	798	719	674	34		11	79	113	87.6	9.9
30-34歳	1,212	998	941	864	63		14	57	214	82.3	5.7
35-39歳	1,404	1,161	1,088	974	106		8	73	243	82.7	6.3
40-44歳	1,123	951	886	775	100		11	65	172	84.7	6.8
45-49歳	989	873	828	716	109		3	45	116	88.3	5.2
50-54歳	1,039	906	861	746	110		5	45	133	87.2	5.0
55-59歳	1,129	913	863	745	117		1	50	216	80.9	5.5
60-64歳	1,170	782	732	614	109		9	50	388	66.8	6.4
65-69歳	881	352	329	257	68		4	23	529	40.0	6.5
70-74歳	769	161	153	119	31		3	8	608	20.9	5.0
75-79歳	704	118	114	81	30	1	2	4	586	16.8	3.4
80-84歳	544	47	42	25	16		1	5	497	8.6	10.6
85歳以上	444	17	15	6	9			2	427	3.8	11.8

※ 労働力状態「不詳」を含む。

(2) 町財政の状況

平成21年度以降の俱知安町の一般会計歳入決算額は、以下に示す通りとなっています。

俱知安町 一般会計歳入決算額（単位：百万円）



俱知安町 一般会計歳入決算額（単位：千円）

	H21年度			H22年度			H23年度			H24年度			H25年度		
	決算額	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比	
総額	8,593,515	100.0		7,991,920	100.0		7,505,591	100.0		8,216,387	100.0		8,120,240	100.0	
町税	2,067,850	24.1		2,013,299	25.2		2,088,005	27.8		2,041,597	24.8		2,107,993	26.0	
地方譲与税	110,955	1.3		108,215	1.4		105,399	1.4		98,744	1.2		93,879	1.2	
利子割交付金	7,079	0.1		7,011	0.1		5,744	0.1		4,723	0.1		4,716	0.1	
配当割交付金	1,335	0.0		1,783	0.0		1,938	0.0		2,019	0.0		4,089	0.1	
株式等譲渡所得割交付金	591	0.0		580	0.0		509	0.0		555	0.0		5,565	0.1	
地方消費税交付金	174,081	2.0		173,782	2.2		171,029	2.3		169,751	2.1		168,302	2.1	
ゴルフ場利用税交付金	10,200	0.1		8,429	0.1		8,468	0.1		8,039	0.1		8,050	0.1	
自動車取得税交付金	22,632	0.3		21,928	0.3		17,936	0.2		21,465	0.3		24,424	0.3	
地方特例交付金	18,598	0.2		28,995	0.4		23,428	0.3		5,149	0.1		5,191	0.1	
地方交付税	2,454,454	28.6		2,691,648	33.7		2,637,530	35.1		2,656,110	32.3		2,642,215	32.5	
交通安全対策特別交付金	2,836	0.0		2,913	0.0		2,972	0.0		2,851	0.0		2,930	0.0	
分担金及び負担金	33,504	0.4		29,268	0.4		47,599	0.6		34,580	0.4		38,030	0.5	
使用料及び手数料	220,389	2.6		214,627	2.7		213,538	2.8		221,599	2.7		220,318	2.7	
国庫支出金	900,083	10.5		1,068,549	13.4		570,854	7.6		743,478	9.0		684,944	8.4	
国庫提供交付金（特別区財源交付金）	867	0.0		871	0.0		783	0.0		704	0.0		668	0.0	
道支出金	1,280,259	14.9		315,219	3.9		344,186	4.6		300,339	3.7		328,800	4.0	
財産収入	33,822	0.4		53,621	0.7		50,664	0.7		279,480	3.4		39,590	0.5	
寄附金	4,376	0.1		3,823	0.0		4,252	0.1		3,363	0.0		15,255	0.2	
繰入金	223,194	2.6		7,608	0.1		234,228	3.1		209,864	2.6		264,329	3.3	
繰越金	280,516	3.3		329,715	4.1		337,044	4.5		268,822	3.3		273,425	3.4	
諸収入	306,294	3.6		305,736	3.8		273,585	3.6		295,855	3.6		307,627	3.8	
町債	439,600	5.1		604,300	7.6		365,900	4.9		847,300	10.3		879,900	10.8	

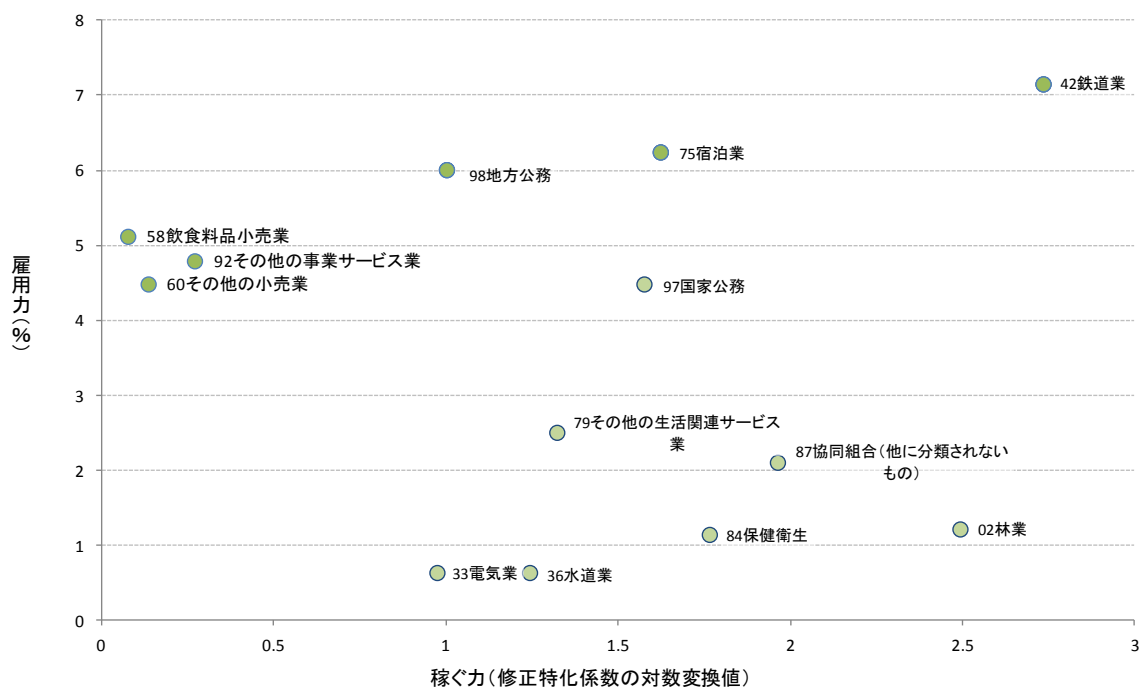
（俱知安町財政課）

（３）倶知安町の産業 将来見通しについて

倶知安町の雇用力と稼ぐ力をみるために、総務省が平成 27 年 5 月に作成した「地域の産業・雇用チャート（平成 24 年経済センサス活動調査）」※を参照します。

※地域の産業・雇用チャート：縦軸に A 産業の雇用者割合をおいて雇用力をみる。横軸に、＜地域における A 産業の従事者比率を全国の A 産業の従事者比率で割った値＝地域における産業 A 特化係数＞を修正した修正特化係数の対数変換値をおき、その産業の稼ぐ力とみなすもの。上に行くほど雇用力が高く、右に行くほど稼ぐ力があるとみなす。右上の位置にある産業がその自治体での基盤産業になる目途をつけられるもの。

「地域の産業・雇用創造チャート」（総務省）に見る倶知安町の産業

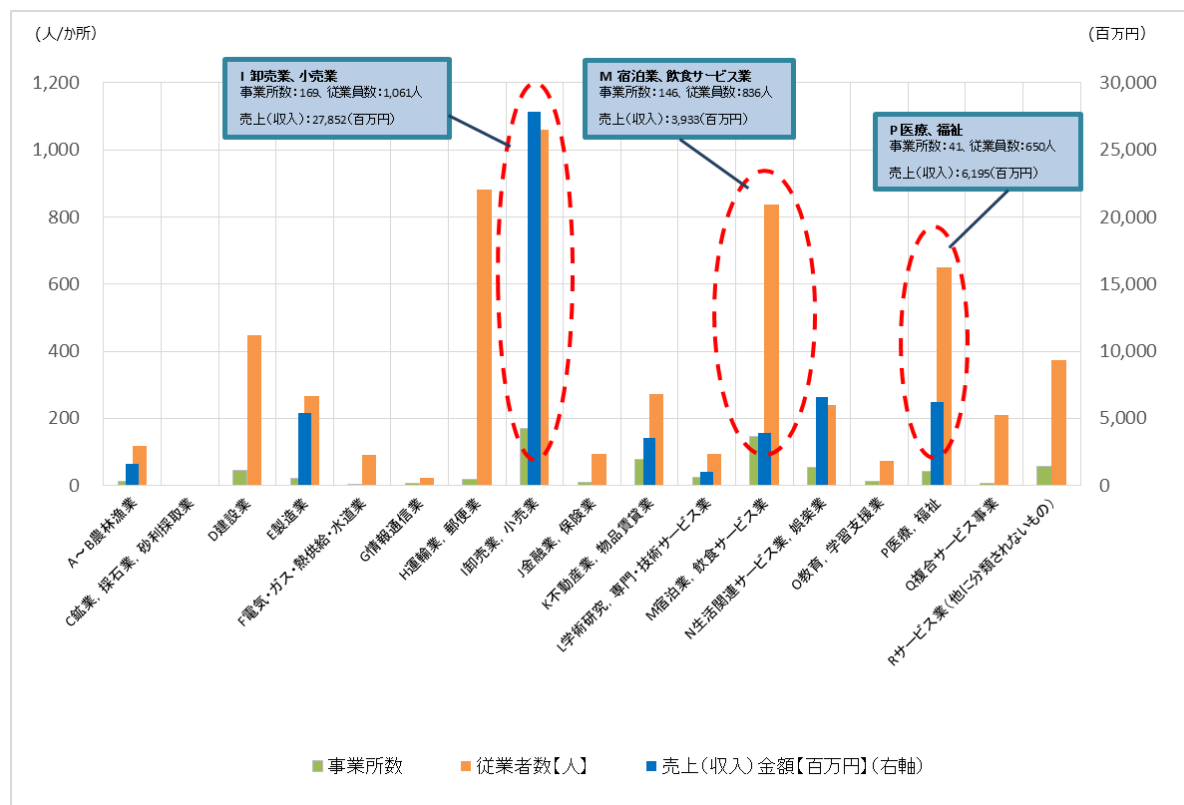


チャートを見ると、稼ぐ力と雇用力ともに高いのは、「42 鉄道業」ですが、鉄道業には「索道業（リフト）」を含んでおり、リフトを運営する東急リゾートの影響が大きく観光業の一つと見ることが出来ます。

稼ぐ力が強い産業は「02 林業」「87 協同組合」「84 保健衛生」であり、雇用力の大きい産業は「75 宿泊業」「98 地方公務」「58 飲食料品小売業」となっています。「84 保健衛生」、「97 国家公務」、「98 地方公務」＝公務員、「87 協同組合」＝農協等、「02 林業」＝森林組合、千歳林業等なので、倶知安町の産業は、公務員・単体等を除くと「宿泊業」や「サービス業」の比重が大きいことが分かります。

今後、倶知安町の強みである「宿泊業」や「サービス業」を伸ばすことが課題となっています。

倶知安町の産業（平成 24 年）

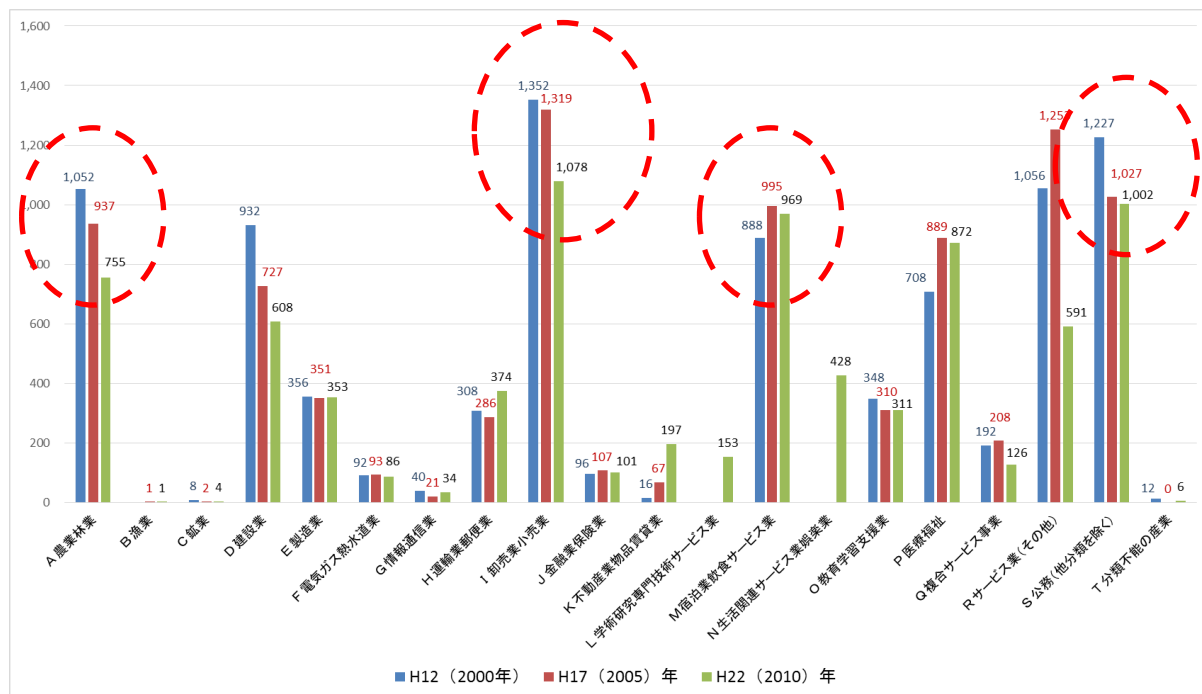


平成 24 年経済センサス - 活動調査

倶知安町の産業構造は、「I 卸売業・小売業」が売上金額、従業者数ともに高く、売上においては「N 生活関連サービス業・娯楽業」「P 医療・福祉」が、従業員数では「H 運輸業・郵便業」「M 宿泊業・飲食サービス業」が続く形になっています。従業員 1 人当たりの売上金額は、「I 卸売業・小売業」26.3 百万円、「M 宿泊業・飲食サービス業」が 4.7 百万円、「P 医療・福祉」が 9.5 百万円です。

ここからは、倶知安町民の産業別就業人口の推移と年齢階級別構成比から、町の産業構造をみてみます。

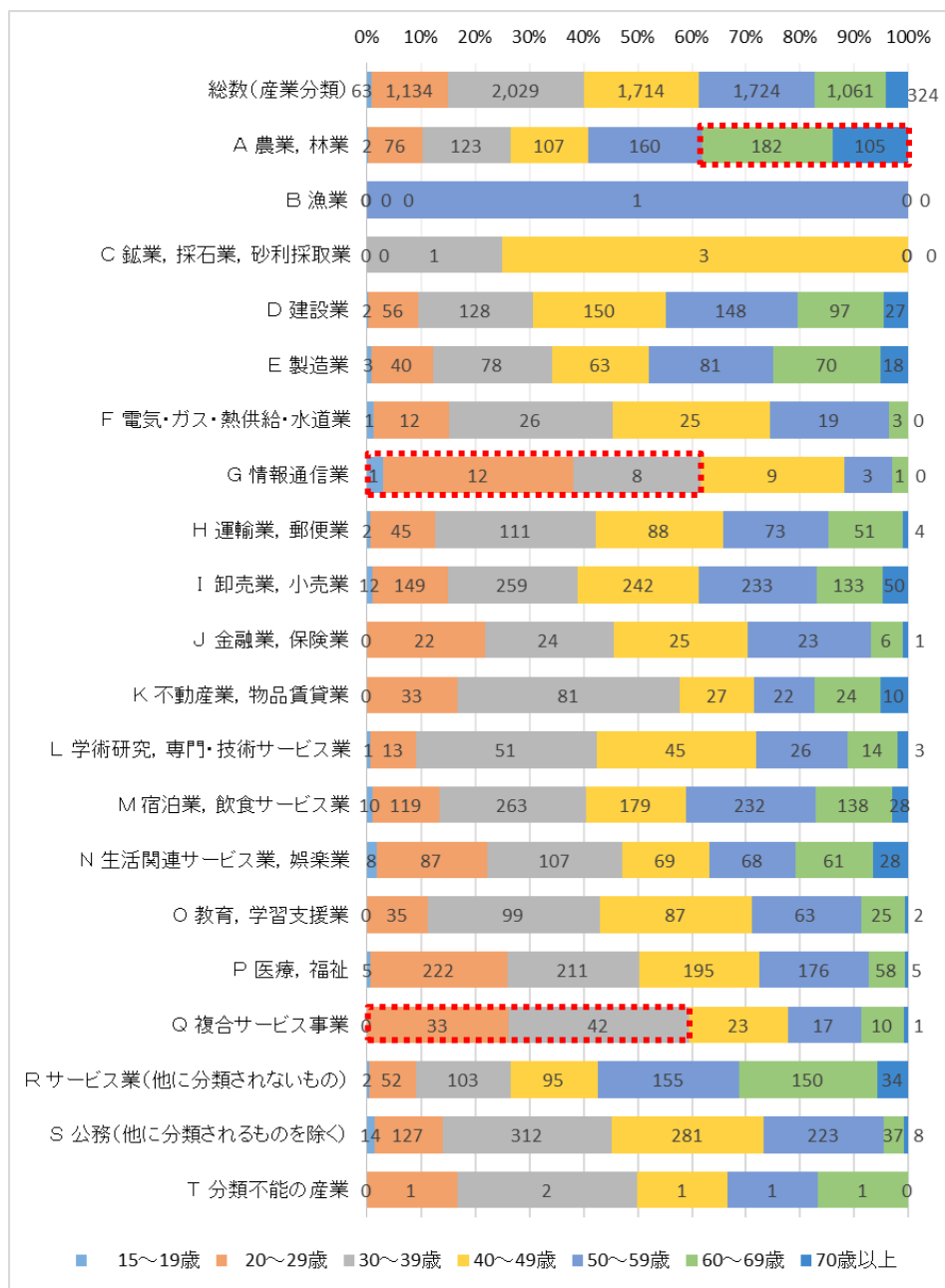
産業別就業人口



H12 年、H17 年、H22 年 国勢調査（平成 22 年の産業分類に合わせて加工）
H12 年、H17 年の数値がないものは、分類方法が違っているため、他の分類に含まれている

倶知安町民の就業状況は、2000 年の時点では「I 卸売業・小売業」「S 公務」「A 農業林業」の順でしたが、その後「A 農業林業」の就業者数は減り、「M 宿泊業飲食サービス業」の就業者数の割合が上がっています。

産業別就業者の年齢階級構成



平成 22 (2010) 年 国勢調査 (グラフ内数値は人数)

60 歳以上の就業者比率が高い産業として、「A 農業・林業 (約 38%)」が目立ちます。

反対に 39 歳以下の比率が高い産業は、「G 情報通信業 (約 88%)」、「Q 複合サービス事業 (約 78%)」です。「Q 複合サービス事業」は、郵便局、農業協同組合等が該当します。

5. 俱知安町の人口推移からみた課題

以上の人口推移に関する分析から、将来の俱知安町人口を展望する上での課題は、以下の通りと推測されます。

■本格的な人口減少期が到来しつつある

俱知安町は、2010年時点での年齢別人口構成は35～39歳人口が最も多く、出生数が死亡数を上回っております。しかし、過去30年間、1980年の18,893人から2010年15,568人へと減少をしてきたように、今後も、人口減少は続くことは確実で、また、少子高齢化も徐々に進んでいきます。本格的な人口減少期はこれから到来します。

■子ども女性比（CWR）がわずかに回復傾向

町の出生数はここ20年ほど140～180人前後で推移しています。子ども女性比（CWR）は1980年の0.290から減少傾向にありましたが、2000年の0.216を境に増加に転じ2010年には0.245に回復しています。こうした傾向を大切に、出産や子育てしやすい環境の整備にいっそう努めていく必要があります。

■合計特殊出生率（TFR）1.62は上位のポジション

町の2008年から2012年の期間における合計特殊出生率（TFR）は1.62となっており、人口置換水準の2.07には及ばないものの、道内の自治体のなかでは上位のポジションにあります。

■社会的自立期の純移動数は、15～19歳に至るまでの5年間、20～24歳に至るまでの5年間の転出が多く、25～29歳に至るまでの5年間では転入が多い傾向が続いてきました。これらの世代全体の純移動数は、2005年から2010年の5年間に約150人のマイナスとなっています。この世代の就職による町外への流出に歯止めをかけると共に、町内へ戻ってくる（流入を増やす）取り組みが求められています。

■子育てファミリーの流入の傾向もみられる

1980年以降、（期末年齢）25～29歳、30～34歳の子育て世代の流入超過の傾向があります。この傾向をさらに促進するために、子育て環境の整備や雇用確保という多様な取り組みが求められます。

■熟年期・長寿期の流入が増加

熟年期・長寿期については、1990年以降、（期末年齢）75～79歳以上の年齢層で小規模ながら流入が上回る傾向がみられます。高齢化率を、少ないですが押し上げる影響により高齢者施策に柔軟な対応が求められます。

■市街地4地区に住民の約8割が集中

町内9地区のうち、市街地4地区で住民の78.2%を占めています。地区毎の人口構成について、郊外（北）地区は、60～69歳人口が多く、高齢化が進んでいます。

■世帯当り人員は直線的に低下傾向続く

世帯数は長期にわたり増加傾向が続いてきましたが、同時に、世帯当り人員は1990年の2.60人から2014年には2.01人に減少しており、世帯規模は次第に小さくなっています。

第3章 倶知安町の将来人口

1. 将来人口推計

(1) 推計の前提と推計結果

国の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に呼応し、人口減少の克服に臨むため、町の将来の人口目標の検討にあたり、次の6つのケースでの試算を行いました。

このうち、ケース1は社人研と、2は創成会議による推計方式によるもので、試算結果を評価する際の基準とするものです。独自推計は4ケース行いました。各試算ケースの前提の設定内容は下表のとおりです。

■試算ケース設定表

	ケース名	出生率	生残率	純社会移動率	説明
基準推計	ケース1 社人研推計	社人研 仮定値	社人研 仮定値	社人研 仮定値	社人研「平成25年3月推計」を基にした推計。2040年～2060年まで、出生率・生残率・純移動率を拡張
	ケース2 日本創成会議推計	社人研 仮定値	同上	創成 会議 仮定値	純移動率＝社人研仮定値に創成会議オリジナルの係数を乗じる
独自推計	ケース3 出生率＝2040年 2.07（移動あり）	2040年 TFR＝ 2.07	同上	社人研 仮定値	2040年のTFR＝2.07（人口置換水準）とし、純移動率は社人研の設定値とした
	ケース4 出生率＝2040年 2.07（移動なし）	2040年 TFR＝ 2.07	同上	移動 なし	2040年のTFR＝2.07（人口置換水準）とし、純移動率は均衡しているとした
	ケース5 出生率＝2040年 1.8（社会移動あり）	2040年 TFR＝ 1.8	同上	社人研 仮定値	2040年のTFR＝1.8（目標値）とし、純移動率は社人研の設定値とした
	ケース6 出生率＝2040年 1.8（社会移動なし）	2040年 TFR＝ 1.8	同上	移動 なし	2040年のTFR＝1.8（目標値）とし、純移動率は均衡しているとした

(2) 試算ケース

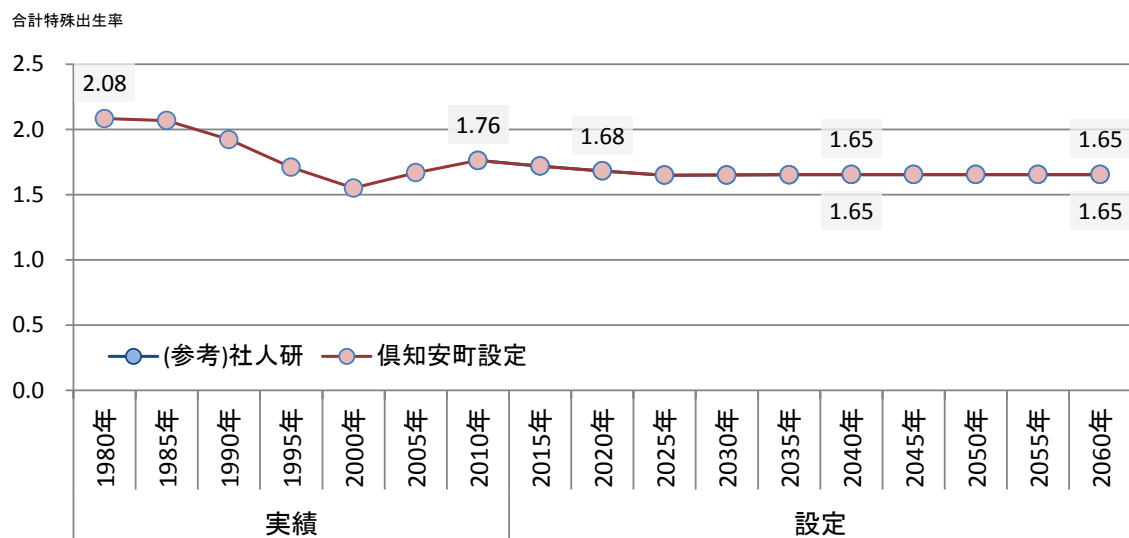
①ケース 1 社人研推計

社人研「平成 25 年 3 月推計」を基にした推計

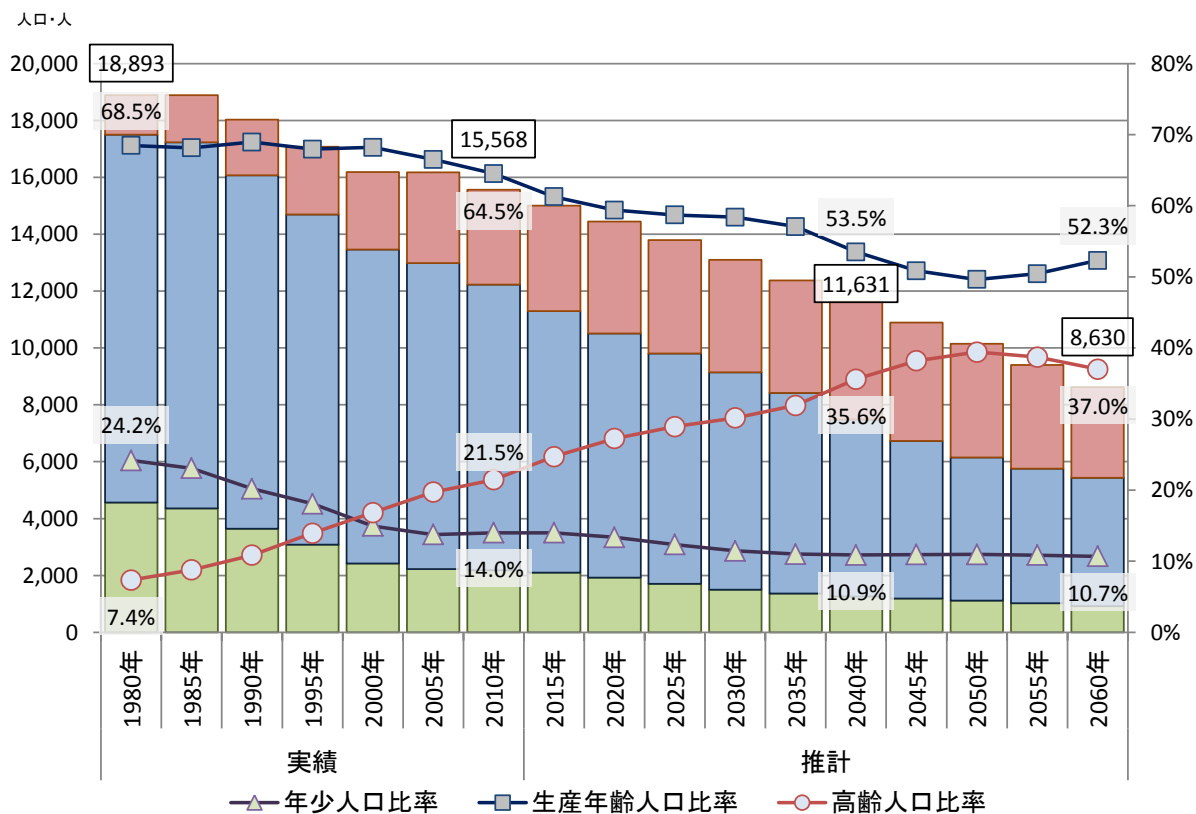
出生率の設定 社人研仮定値

純移動率の設定 社人研仮定値

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果



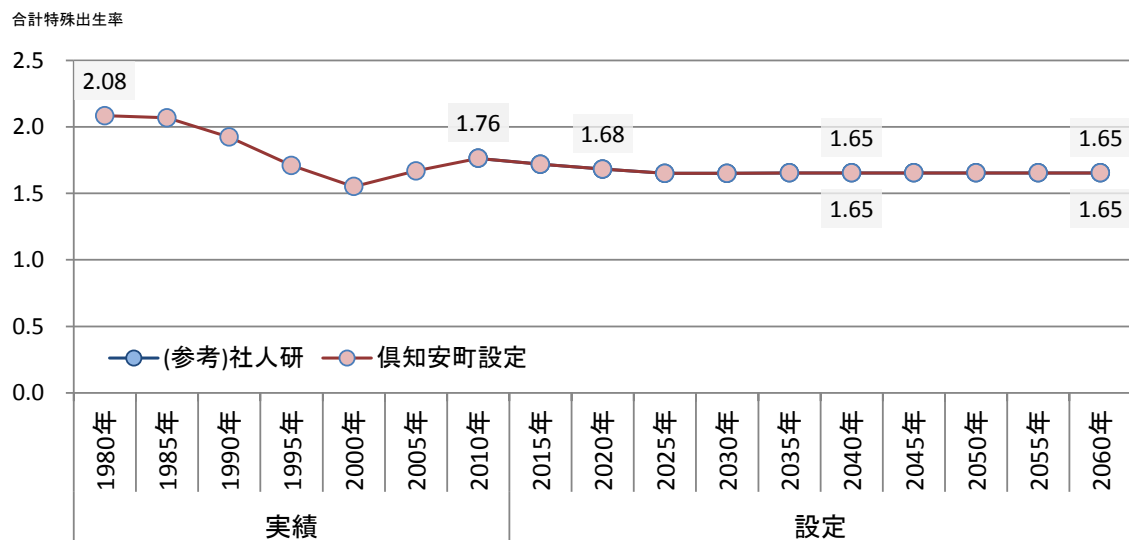
②ケース２ 創成会議推計

純移動率＝社人研仮定値に創成会議オリジナルの係数を乗じる

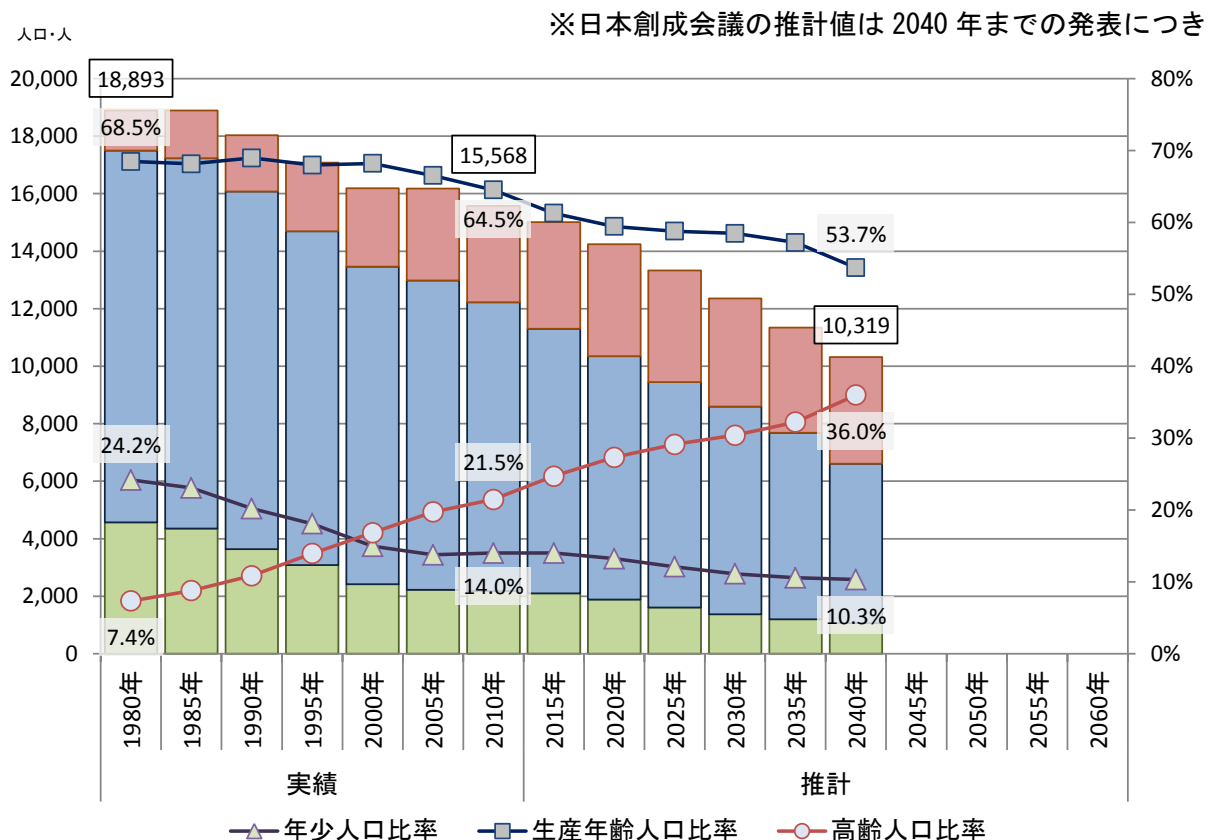
出生率の設定 社人研仮定値

純移動率の設定 創成会議仮定値

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果

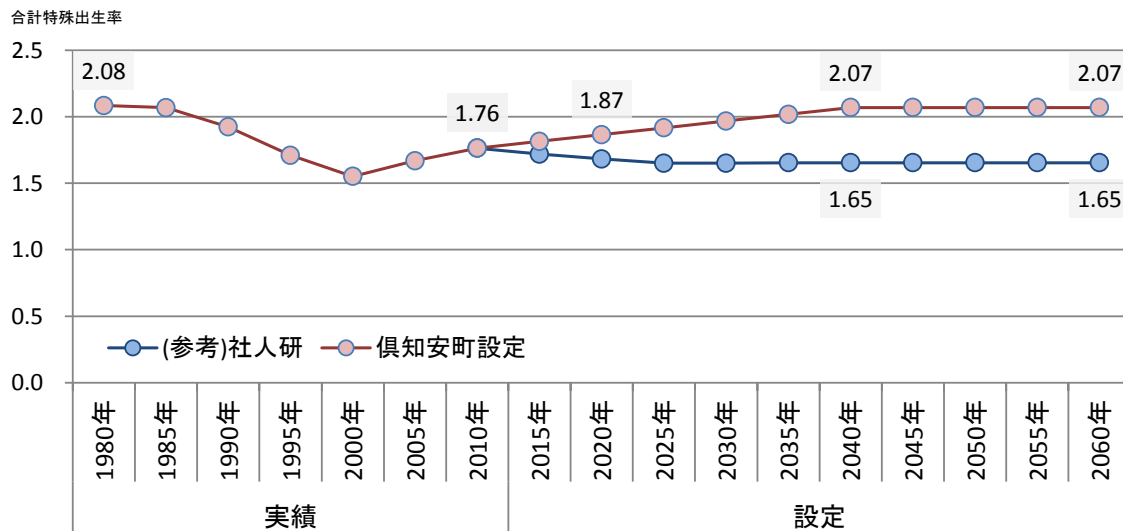


③ケース3 出生率=2040年に2.07で社会移動あり

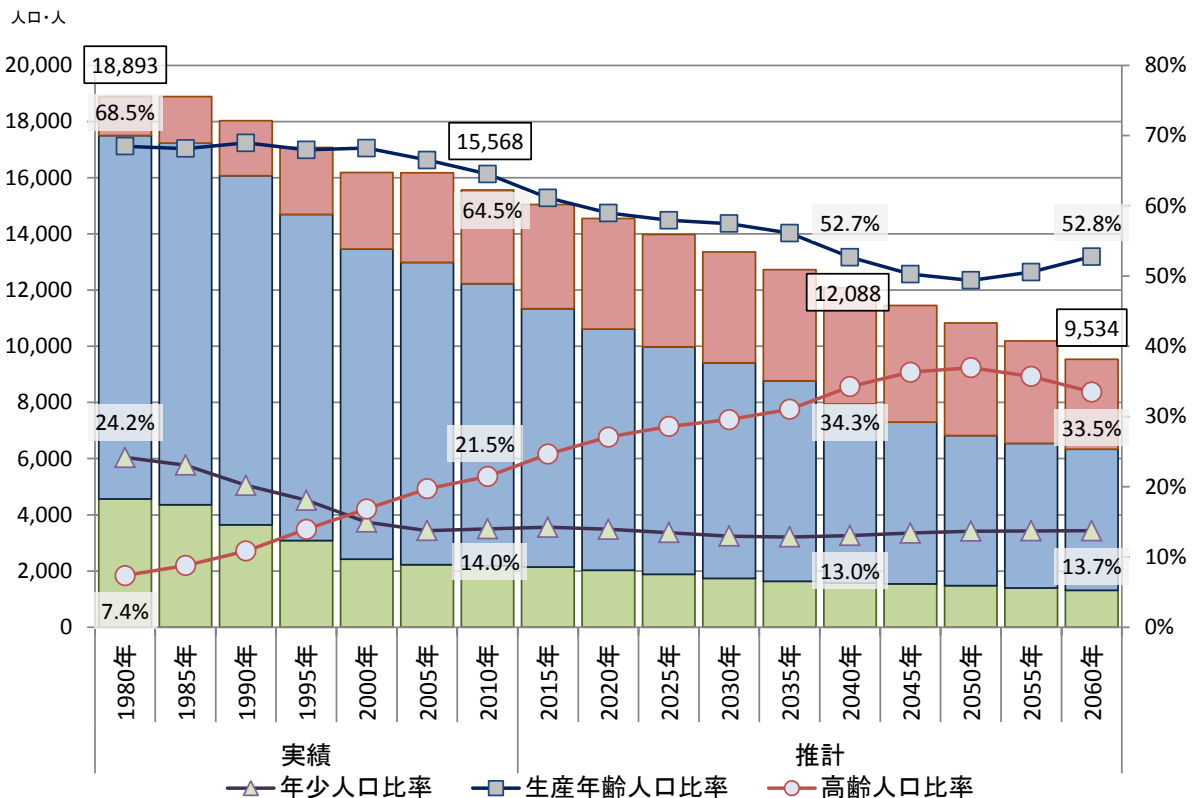
出生率の設定 2040年のTFR=2.07 独自設定

純移動率の設定 社人研仮定値

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果

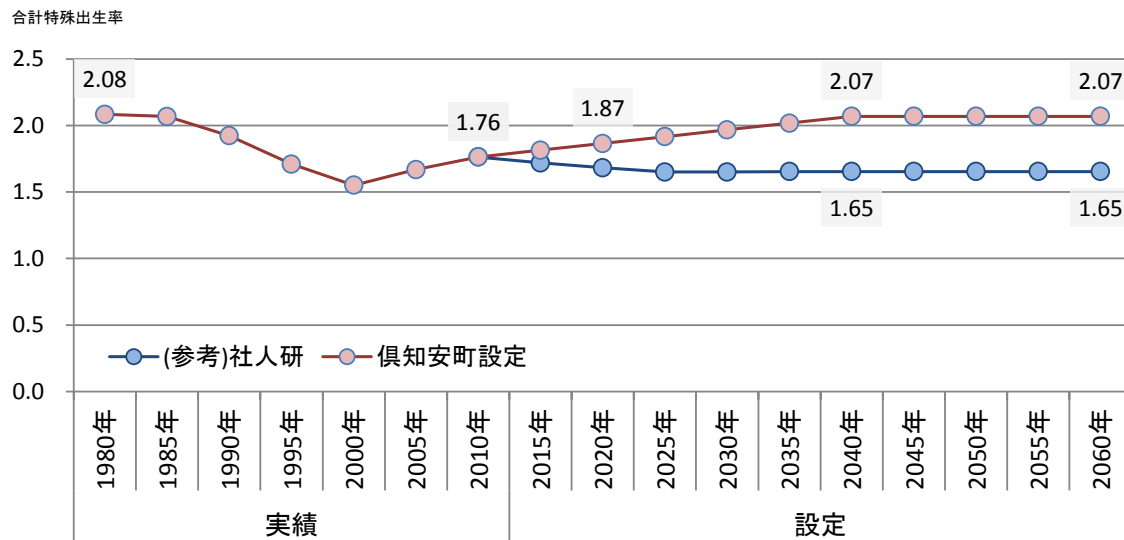


④ケース4 出生率=2040年に2.07で社会移動なし

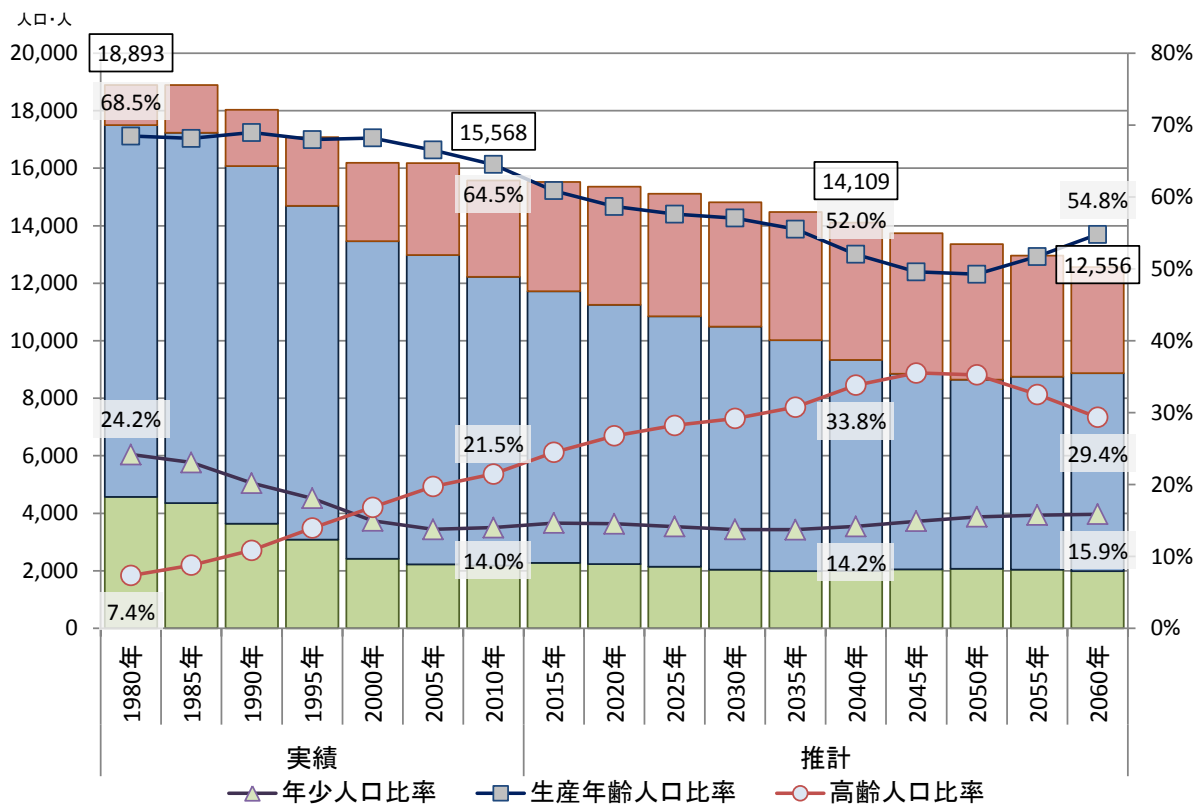
出生率の設定 2040年のTFR=2.07 独自設定

純移動率の設定 移動なし

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果

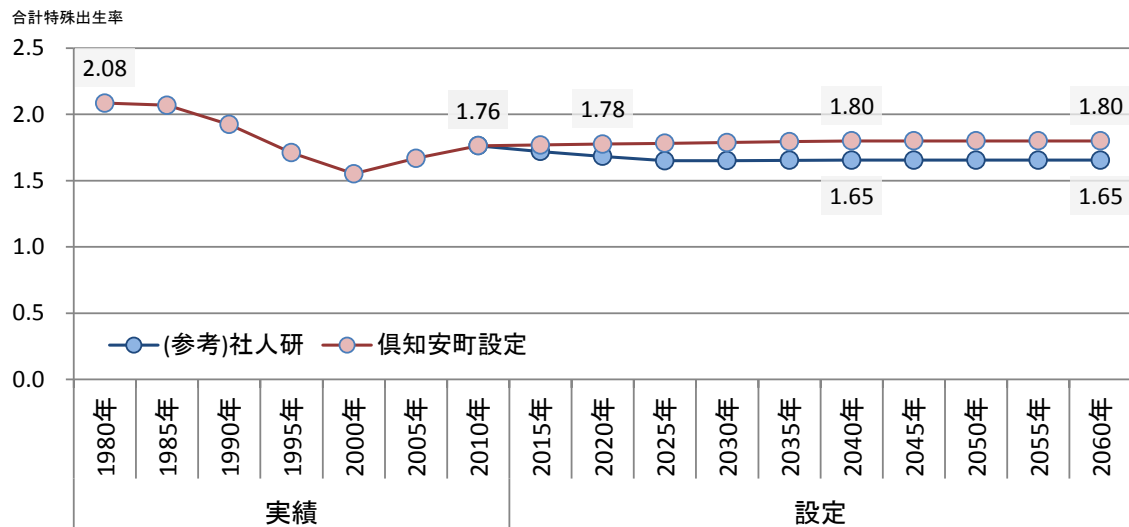


⑤ケース5 出生率=2040年に1.8で社会移動あり

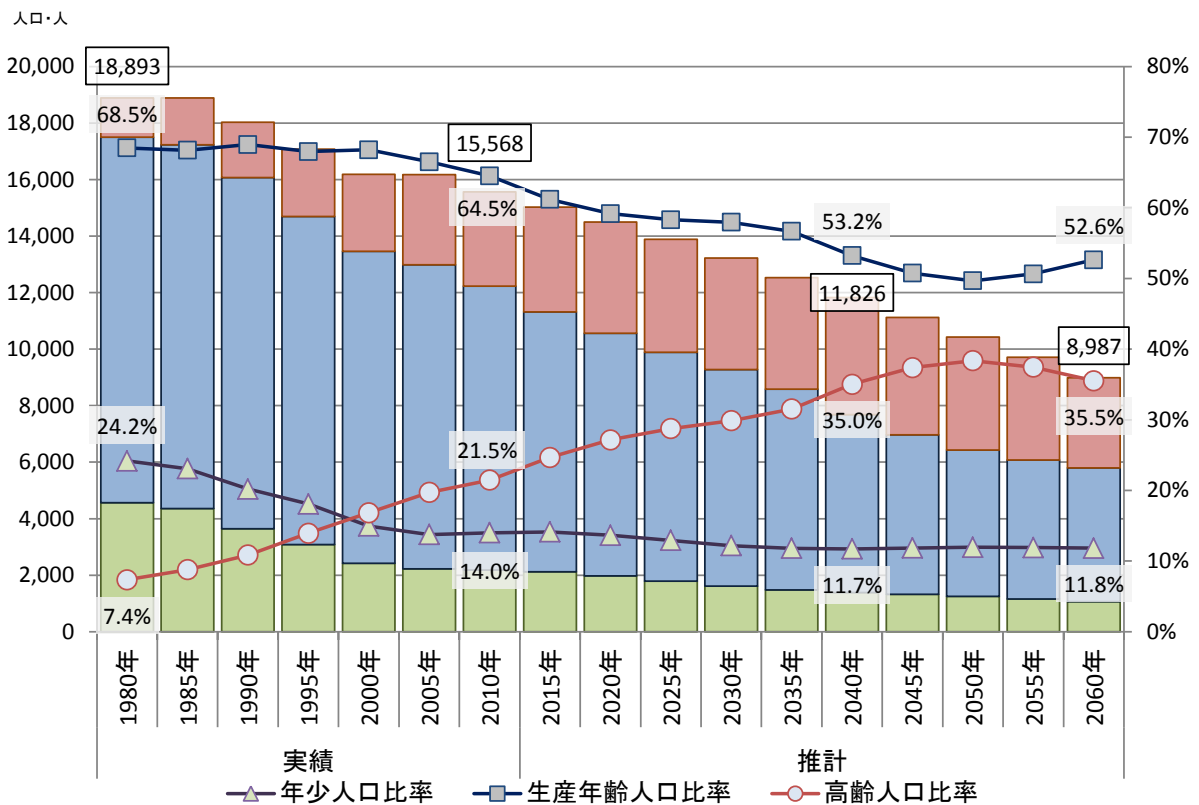
出生率の設定 2040年のTFR=1.8 独自設定

純移動率の設定 社人研仮定値

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果

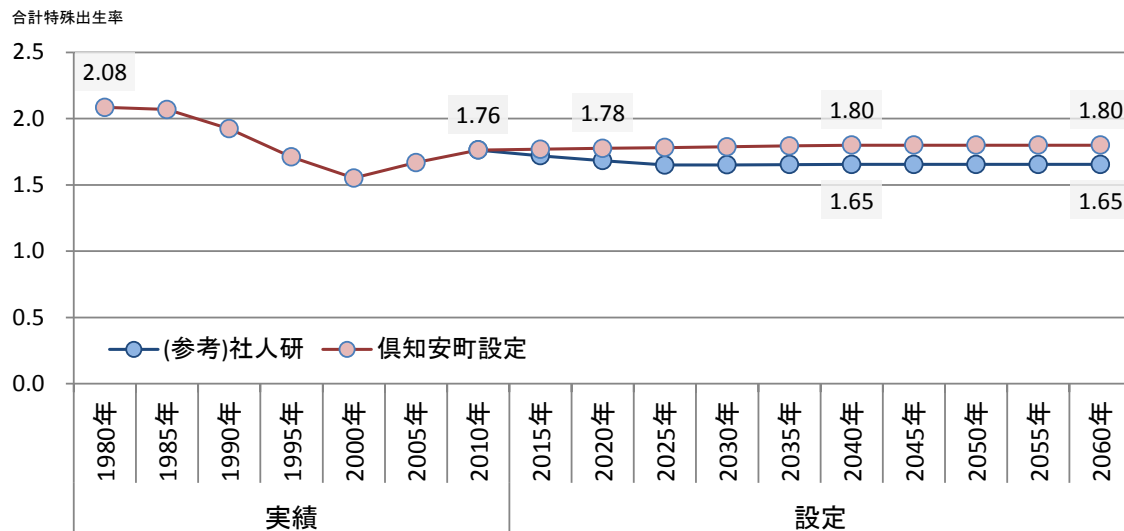


⑥ケース6 出生率=2040年に1.8で社会移動なし

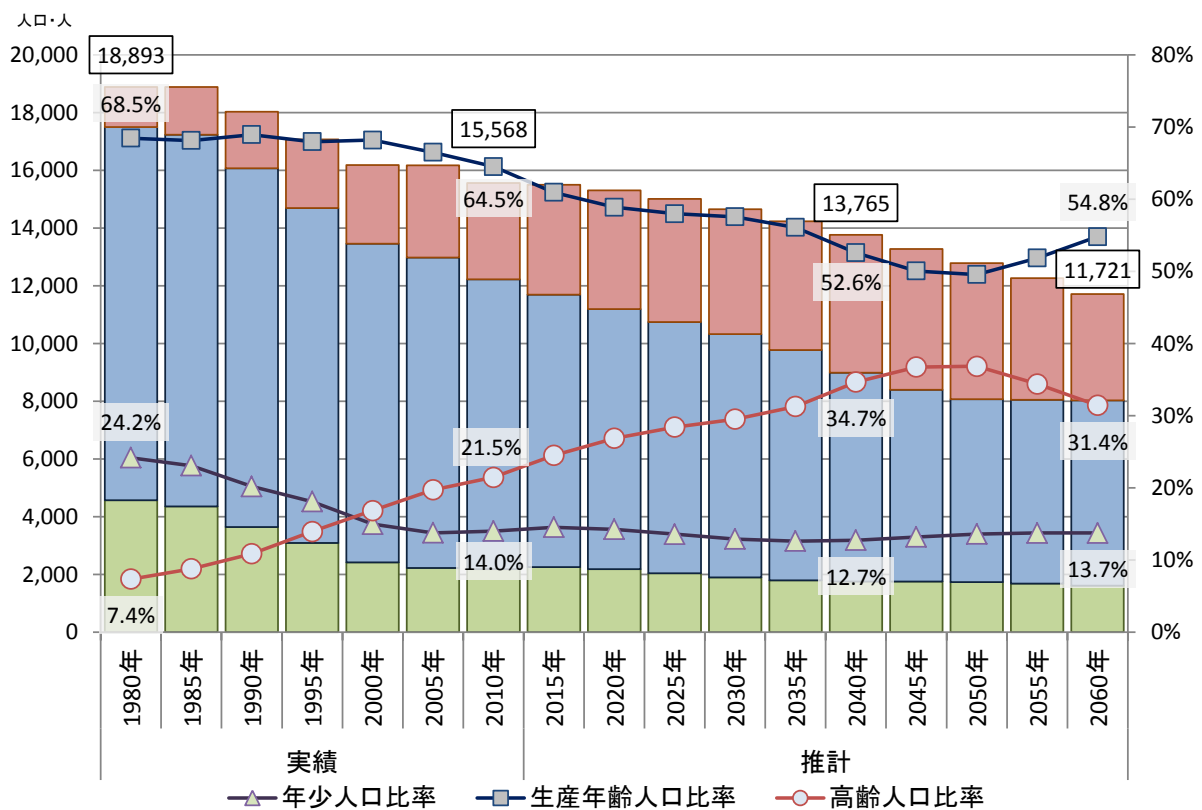
出生率の設定 2040年のTFR=1.8 独自設定

純移動率の設定 移動なし

■合計特殊出生率の設定／推計値



■総人口の推計結果



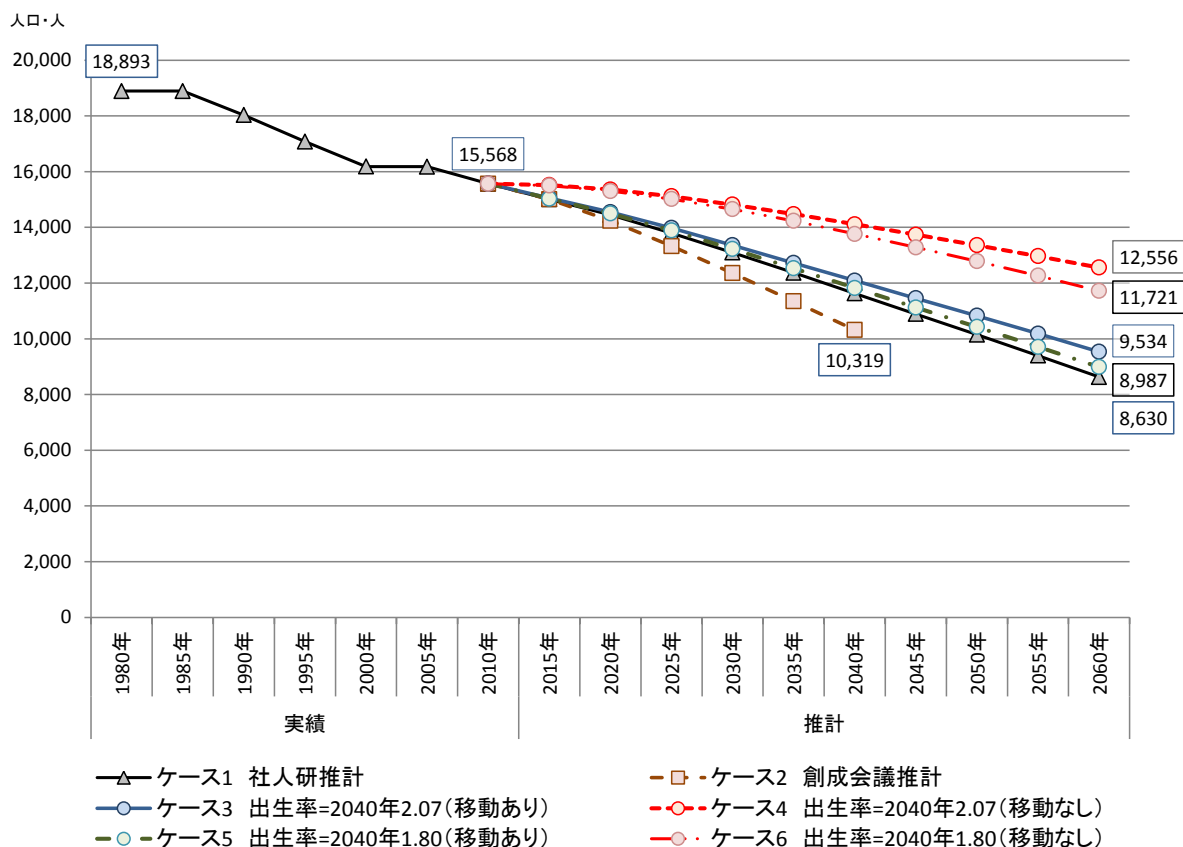
(3) 試算結果のまとめ

6ケース試算の結果は、下表・グラフに示すとおりです。2060年の総人口で、ケース4(2040年出生率=2.07：純移動率なし)がもっとも高くなり(12,556人)、次いでケース6(2040年出生率=1.8：人口移動なし)、ケース3、ケース5という結果となりました。いずれのケースも、社人研推計(8,630人)を上回っています。

■試算結果表 【総人口】

		(人)					
推計		ケース1 社人研推計	ケース2 創成会議推計	ケース3 出生率=2040年2.07(移動あり)	ケース4 出生率=2040年2.07(移動なし)	ケース5 出生率=2040年1.80(移動あり)	ケース6 出生率=2040年1.80(移動なし)
	2015年	15,009	15,009	15,047	15,517	15,029	15,498
	2020年	14,448	14,239	14,548	15,356	14,499	15,303
	2025年	13,798	13,329	13,977	15,115	13,888	15,014
	2030年	13,097	12,358	13,359	14,814	13,222	14,652
	2035年	12,370	11,347	12,722	14,474	12,529	14,232
	2040年	11,631	10,319	12,088	14,109	11,826	13,765
	2045年	10,890		11,456	13,735	11,125	13,280
	2050年	10,151		10,828	13,357	10,427	12,785
	2055年	9,397		10,186	12,965	9,714	12,267
	2060年	8,630		9,534	12,556	8,987	11,721

■試算結果グラフ 【総人口】



6ケース試算の結果を年齢3階層別人口、20-39 歳女性人口で比較すると下表の通りとなります。

■ 3階層別人口と増減率

(人)

		総人口	0-14歳人口	うち0-4歳人口	15-64歳人口	65歳以上人口	20-39歳女性人口
2010年	現状値	15,568	2,181	768	10,045	3,342	1,955
2060年	ケース1 社人研推計	8,630	923	291	4,513	3,194	711
	ケース2 創成会議推計	10,319	1,065	354	5,540	3,713	934
	ケース3 出生率=2040年2.07（移動あり）	9,534	1,310	431	5,030	3,194	869
	ケース4 出生率=2040年2.07（移動なし）	12,556	1,993	651	6,877	3,685	1,296
	ケース5 出生率=2040年1.80（移動あり）	8,987	1,063	341	4,731	3,194	776
	ケース6 出生率=2040年1.80（移動なし）	11,721	1,611	513	6,424	3,685	1,155

(増減率) 2010年現状値を100%とした場合の増減率

		総人口	0-14歳人口	うち0-4歳人口	15-64歳人口	65歳以上人口	20-39歳女性人口
2010年	現状値	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2010年 →2060年 増減率	ケース1 社人研推計	-44.6%	-57.7%	-62.1%	-55.1%	-4.4%	-63.6%
	ケース2 創成会議推計	-33.7%	-51.2%	-53.9%	-44.8%	11.1%	-52.2%
	ケース3 出生率=2040年2.07（移動あり）	-38.8%	-39.9%	-43.9%	-49.9%	-4.4%	-55.6%
	ケース4 出生率=2040年2.07（移動なし）	-19.3%	-8.6%	-15.3%	-31.5%	10.3%	-33.7%
	ケース5 出生率=2040年1.80（移動あり）	-42.3%	-51.3%	-55.6%	-52.9%	-4.4%	-60.3%
	ケース6 出生率=2040年1.80（移動なし）	-24.7%	-26.1%	-33.3%	-36.0%	10.3%	-40.9%

【注】創成会議推計値は2040年。他は2060年。

（４）将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響

国の人口ビジョンの手引きに沿って、試算ケースで取り上げた推計人口を使い、俱知安町の将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度を分析してみます。

①将来人口に及ぼす自然増減の影響度

ケース３は、人口移動に関する仮定をケース１（社人研推計準拠）と同様にして、出生に関する仮定を変えたものです。ケース３の２０４０年の推計総人口をケース１（社人研推計準拠）の同年の推計総人口で除して得られる数値は、仮に出生率が人口置換水準（２．０７と設定）まで上昇する場合に人口がどうなるかを表すこととなり、その値が大きいほど出生の影響度が大きいことを意味します。

自然増減の影響度	計算方法	影響度
	ケース３の２０４０年推計人口＝１２，０８８（人） ケース１の２０４０年推計人口＝１１，６３１（人） $\Rightarrow 12,088 \text{ (人)} \div 11,631 \text{ (人)} \times 100 = 103.9\%$	2

②将来人口に及ぼす社会増減の影響度

ケース４は、出生に関する仮定をケース３と同様にして、人口移動に関する仮定を変えたものです。ケース４の２０４０年の推計総人口をケース３の同年の推計総人口で除して得られる数値は、仮に人口移動が均衡した場合（移動が０となった場合）に人口がどうなるかを表すこととなり、その値が大きいほど人口移動の影響度が大きいことを意味します。

社会増減の影響度	計算方法	影響度
	ケース４の２０４０年推計人口＝１４，１０９（人） ケース３の２０４０年推計人口＝１２，０８８（人） $\Rightarrow 14,109 \text{ (人)} \div 12,088 \text{ (人)} \times 100 = 116.7\%$	3

以上から、俱知安町においては自然増減と社会増減の影響度は社会増減の影響が大きいと考えられます。この状況から考えられることは、全体の転出を抑える施策の展開だけでなく、子育て期にあたる２０～３９歳女性人口の流入を増やす戦略的な施策が必要であると考えます。

●参考：自然増減・社会増減の影響度の５段階評価

自然増減・社会増減の影響度を国の示した例示に沿って、以下の５段階に整理しています。

・自然増減の影響度：

「１」＝１００％未満、「２」＝１００～１０５％、「３」＝１０５～１１０％、「４」＝１１０～１１５％、

「５」＝１１５％以上の増加

※「１」＝１００％未満の場合、将来の合計特殊出生率に換算した仮定値が、平成４２（２０３０）年までに２．１を上回っている市町村が該当する。

・社会増減の影響度：

「１」＝１００％未満、「２」＝１００～１１０％、「３」＝１１０～１２０％、「４」＝１２０～１３０％、

「５」＝１３０％以上の増加

※「１」＝１００％未満の場合、将来の純移動率の仮定値が転入超過基調となっている市町村が該当する。

（５）人口減少段階の分析

人口減少段階は、「第１段階：老年人口の増加（総人口の減少）」、「第２段階：老年人口の維持・微減」、「第３段階：老年人口の減少」の３つの段階を経て進行するとされています。

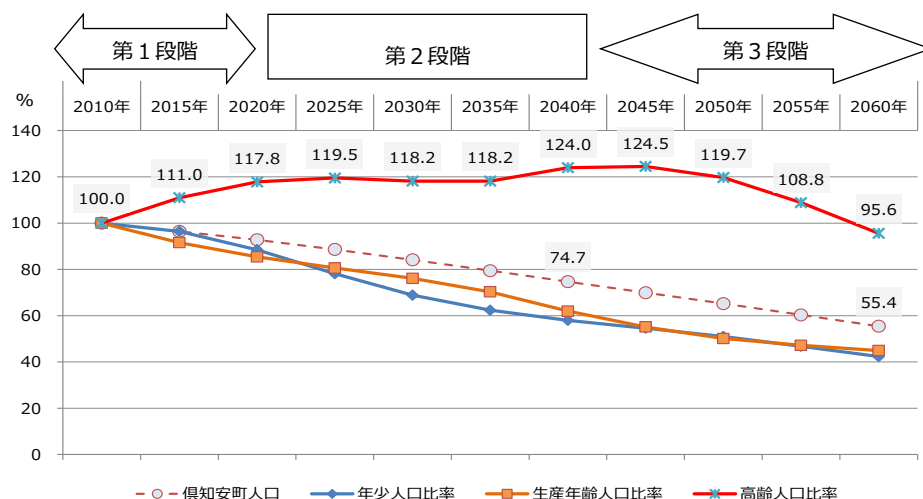
俱知安町における人口減少段階を、将来人口推計ケース１（社人研推計準拠）とケース４（人口置換水準・人口移動なし）を比較しながらみてみます。

平成 22 年（2010 年）の人口を 100 とし、各年（５年ごと）の将来推計の老年人口比率、生産年齢人口比率、年少人口比率を指数化したものです。

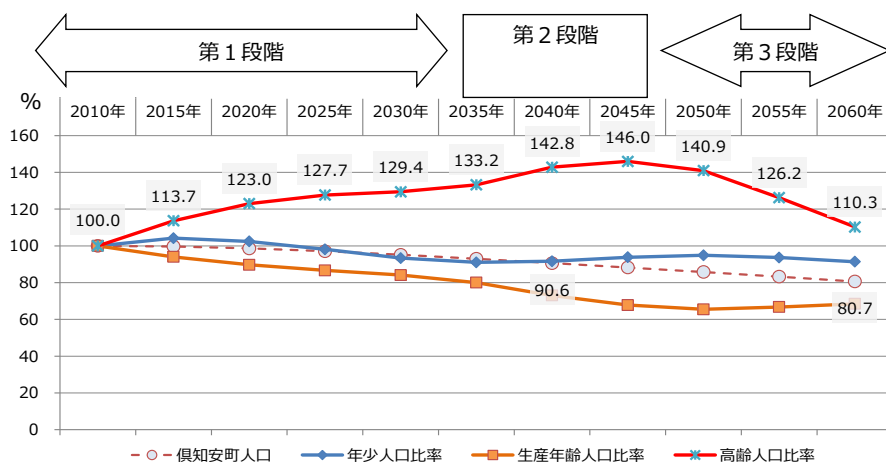
ケース１とケース４を比較すると、俱知安町の場合、ケース１（社人研推計準拠）とケース４（人口置換水準・人口移動なし）で高齢人口比率の推移に大きな違いはありませんが、年少人口比率と生産年齢人口比率においては全く異なる推移になることが分かります。

ケース４の場合、年少人口比率が 2015 年以降ほぼ横ばいで推移し、生産年齢人口比率は微減で推移しますが、2050 年に減少傾向は底を打ちます。

■ケース 1 の場合



■ケース 4 の場合



(参考) 都道府県別人口減少段階(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部・人口ビジョン資料)

人口減少段階の区分	都道府県名
第1段階 (44 都道府県)	北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、山形県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、山形県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、山形県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
第2段階 (3 県)	秋田県、島根県、高知県

2. 地域に与える影響

人口減少の影響は、長期的かつ非常に多岐に渡ることが想定されます。人口減少が長期的に与える様々な影響やリスクを想定した上で、長期的な視点に立ち、総合戦略全般の政策・施策を検討していく必要があります。

（１）産業・雇用

人口減少が第一次産業、第二次産業に与える影響について、生産年齢人口の減少は労働力不足を招き、雇用量や質の低下、後継者不足などの問題につながります。農林業においては、担い手の不足により耕作放棄地の増加等が進み、地域によっては人口減少がさらに深刻化するおそれがあります。

人口減少が第三次産業に与える影響について、住民の生活を支える商業・サービス業が営業を続けるためには一定の人口規模を必要としています。人口減少は、生活を直接支えるサービスが維持できなくなることになり、さらなる人口減少や買い物弱者の増加につながる可能性があります。

これら人口減少が産業・雇用に与える影響を鑑み、市場規模の縮小や経済構造の変化も踏まえ、町内各産業においても技術革新、生産性向上、高収益化を図る必要があります。

（２）子育て・教育

若者が希望どおりに結婚し、安心して出産、子育てができる社会環境を実現するために、地域全体で支援する、女性が住み続けたいと思うようなまちづくり、女性が子育てで孤立しないまちづくりへの取り組みが必要です。俱知安町においては、20代半ばから30代前半の転入者が比較的多いので、これら子育て世代が安心して出産・子育てできる取り組みが必要です。

教育環境をつくり維持することは地域コミュニティを創造し維持することにつながります。今後の活力あるまちづくりを推進するために、俱知安町の強みである農業、外国人との多文化共生、アウトドアスポーツを後押しする教育施策を図る必要があります。

（３）福祉・介護・健康・医療

老年人口の増加により、福祉・介護・健康・医療に関するさらなる需要増加が見込まれます。一方で、支える側の年齢人口は減少傾向のため、社会保障制度の維持について制度の再構築の必要性が高まると考えられます。福祉・介護・健康・医療の充実を図り、健康寿命の延伸、健康格差の縮小、生活習慣病の発症予防及び重症化予防の徹底等を図る必要があります。

（４）地域生活

人口減少により地域コミュニティの互助機能が低下することが懸念されます。こうしたコミュニティの希薄化は、地域の防犯力、防災力の機能低下も招き、災害弱者・犯罪弱者の増加をも招くおそれがあります。

また、住宅が供給過多となり、空き家の増加が予想されます。空き家への対策を検討する必要に迫られます。

さらに、公共交通機能が低下して通勤・通学者や高齢者の日常生活に影響を及ぼすおそれがあります。それにより生じる交通弱者への対策が望まれます。

（５）行財政サービス

人口減少により、長期的には税収など歳入の減少が見込まれる一方、高齢化はさらに進むことから、社会保障関係経費等が増加し、さらに財政の硬直化が進行するおそれがあります。

俱知安町の予算規模は、年度による増減はありますが、平成 21 年の歳入 85.9 億円から平成 25 年度は 81.2 億円と減少しています。

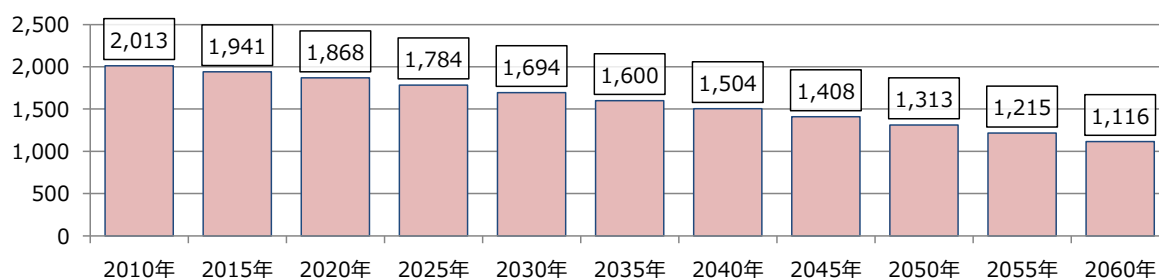
俱知安町の町税収入は、ここ数年約 20 億円と安定していますが、将来人口推計による生産年齢人口（15～64 歳）の減少予測に伴い、将来の収入減少を考慮する必要があります。

さらに、地域によっては、高齢者（老年人口）を少ない現役人口（生産年齢人口）で支える状況が発生すると考えられるので、それにともない町の施策の方向転換や事業の方策転換の検討が予測されます。

■将来の地方税収入試算

2010（平成 22）年の 1 人あたり地方税（2,013 百万円÷15,568 人→129,320 円）を社人研の俱知安町推計総人口を基に、将来の地方税の見込みを試算しました。

単位：百万円

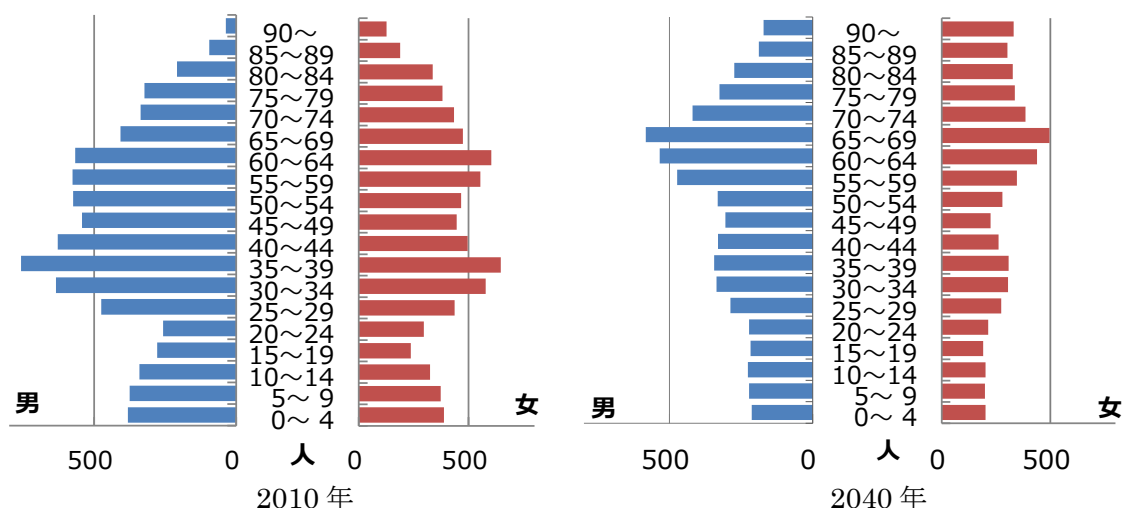


（2010 年実績と社人研の人口推計より試算）

（６）将来の人口構成について

倶知安町の 2010 年と 2040 年の性別・年齢別人口構成をグラフに表すと以下のとおりになります。

■性別・年齢別人口構成の変遷（2010 年→2040 年）

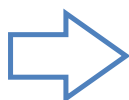


（2010 年は国勢調査、将来推計は国立社会保障・人口問題研究所人口推計による）

上記の 2010 年と 2040 年の性別・年齢別人口構成で 65 歳以上または 75 歳以上の高齢者 1 人を何人の現役世代（15～64 歳、生産年齢人口）で支えるのかを単純計算すると次のとおりになります。この計算では、2010 年は 65 歳以上の高齢者 1 人を 3.0 人の現役世代で支えていたのに対し、2040 年はその半分の 1.5 人になります。また、2010 年は 75 歳以上の高齢者 1 人を 5.9 人の現役世代で支えていたのに対し、2040 年は 2.8 人になります。

65歳以上1人を現役何人で支える

3.0 人

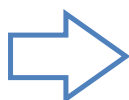


65歳以上1人を現役何人で支える

1.5 人

75歳以上1人を現役何人で支える

5.9 人



75歳以上1人を現役何人で支える

2.8 人

第4章 将来展望の検討

1. 将来展望の基礎となる住民意識

(1) アンケートの概要

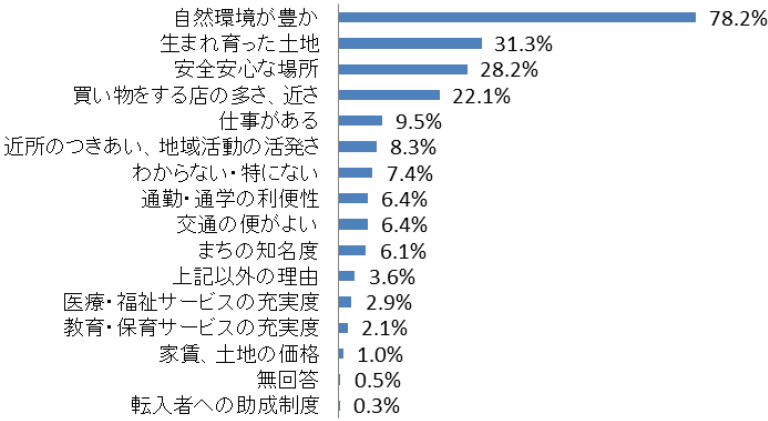
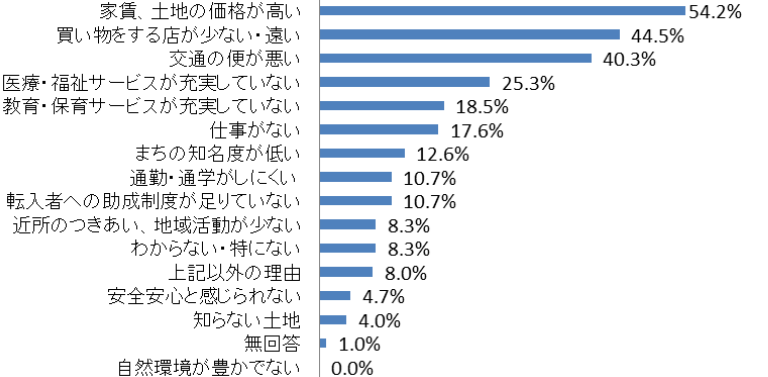
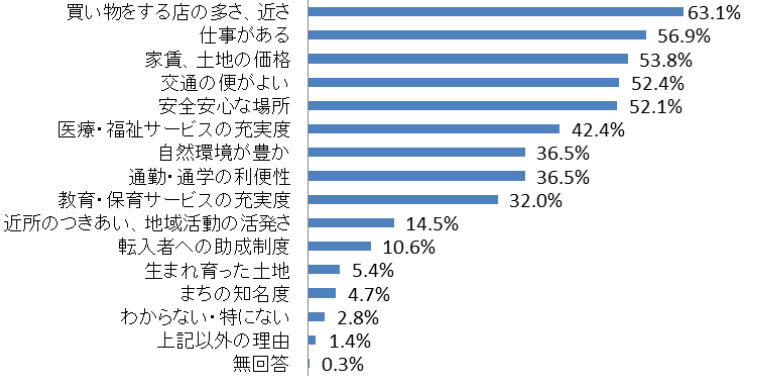
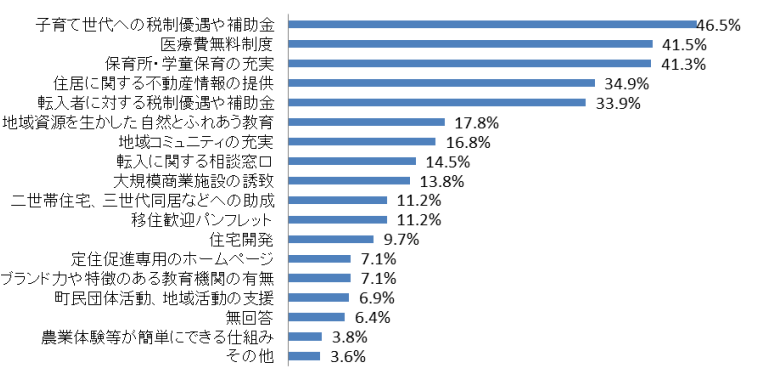
- 調査対象：高校生含む 15 歳から 39 歳までの一般住民および過去に俱知安町に在住していた町外住民（無作為抽出）
- 調査時期：平成 27 年 6 月 19 日～平成 27 年 6 月 30 日
- 調査方法：郵送調査（高校生に関しては学校にて配布・回収）
- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
一般住民	1383 票	419 票	30.3%
高校生	226 票	159 票	70.4%
転出者	400 票	118 票	29.5%

(2) アンケート結果の抜粋

一般住民アンケート調査の主な結果

あなたは、俱知安町のことが好きですか。 （一般住民アンケート調査、問 6 より）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まあまあ好き</td> <td>56.6%</td> </tr> <tr> <td>とても好き</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>あまり好きでない</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>きらい</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	まあまあ好き	56.6%	とても好き	20.6%	どちらともいえない	15.4%	あまり好きでない	5.2%	きらい	1.7%	無回答	0.5%
回答	割合														
まあまあ好き	56.6%														
とても好き	20.6%														
どちらともいえない	15.4%														
あまり好きでない	5.2%														
きらい	1.7%														
無回答	0.5%														
国は、地方創生を推進する上で、4つの目標を立てています。あなたが最も期待する目標は何ですか。（一般住民アンケート調査、問 8 より）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>地方における安定した雇用を創出する</td> <td>21.1%</td> </tr> <tr> <td>地方への新しいひとの流れをつくる</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.6%</td> </tr> </tbody> </table>	目標	割合	時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	33.0%	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	29.4%	地方における安定した雇用を創出する	21.1%	地方への新しいひとの流れをつくる	13.8%	無回答	2.6%		
目標	割合														
時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	33.0%														
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	29.4%														
地方における安定した雇用を創出する	21.1%														
地方への新しいひとの流れをつくる	13.8%														
無回答	2.6%														

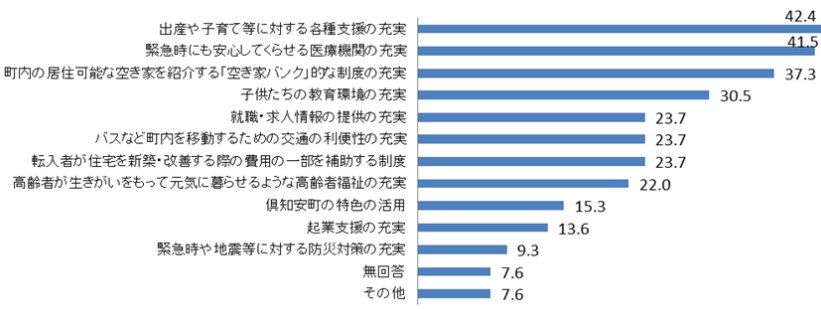

<p>倶知安町が住みやすいと感じる点はどういった点ですか。(複数回答)</p> <p>(一般住民アンケート調査、問 10 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>点</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>自然環境が豊かな</td><td>78.2%</td></tr> <tr><td>生まれ育った土地</td><td>31.3%</td></tr> <tr><td>安全安心な場所</td><td>28.2%</td></tr> <tr><td>買い物をする店の多さ、近さ</td><td>22.1%</td></tr> <tr><td>仕事がある</td><td>9.5%</td></tr> <tr><td>近所のつきあい、地域活動の活発さ</td><td>8.3%</td></tr> <tr><td>わからない・特にな</td><td>7.4%</td></tr> <tr><td>通勤・通学の利便性</td><td>6.4%</td></tr> <tr><td>交通の便がよい</td><td>6.4%</td></tr> <tr><td>まちの知名度</td><td>6.1%</td></tr> <tr><td>上記以外の理由</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>医療・福祉サービスの充実度</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>教育・保育サービスの充実度</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>家賃、土地の価格</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>転入者への助成制度</td><td>0.3%</td></tr> </tbody> </table>	点	割合	自然環境が豊かな	78.2%	生まれ育った土地	31.3%	安全安心な場所	28.2%	買い物をする店の多さ、近さ	22.1%	仕事がある	9.5%	近所のつきあい、地域活動の活発さ	8.3%	わからない・特にな	7.4%	通勤・通学の利便性	6.4%	交通の便がよい	6.4%	まちの知名度	6.1%	上記以外の理由	3.6%	医療・福祉サービスの充実度	2.9%	教育・保育サービスの充実度	2.1%	家賃、土地の価格	1.0%	無回答	0.5%	転入者への助成制度	0.3%				
点	割合																																						
自然環境が豊かな	78.2%																																						
生まれ育った土地	31.3%																																						
安全安心な場所	28.2%																																						
買い物をする店の多さ、近さ	22.1%																																						
仕事がある	9.5%																																						
近所のつきあい、地域活動の活発さ	8.3%																																						
わからない・特にな	7.4%																																						
通勤・通学の利便性	6.4%																																						
交通の便がよい	6.4%																																						
まちの知名度	6.1%																																						
上記以外の理由	3.6%																																						
医療・福祉サービスの充実度	2.9%																																						
教育・保育サービスの充実度	2.1%																																						
家賃、土地の価格	1.0%																																						
無回答	0.5%																																						
転入者への助成制度	0.3%																																						
<p>倶知安町が住みにくと感じる点はどういった点ですか。(複数回答)</p> <p>(一般住民アンケート調査、問 11 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>点</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>家賃、土地の価格が高い</td><td>54.2%</td></tr> <tr><td>買い物をする店が少ない・遠い</td><td>44.5%</td></tr> <tr><td>交通の便が悪い</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>医療・福祉サービスが充実していない</td><td>25.3%</td></tr> <tr><td>教育・保育サービスが充実していない</td><td>18.5%</td></tr> <tr><td>仕事がない</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>まちの知名度が低い</td><td>12.6%</td></tr> <tr><td>通勤・通学がしにくい</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>転入者への助成制度が足りない</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>近所のつきあい、地域活動が少ない</td><td>8.3%</td></tr> <tr><td>わからない・特にな</td><td>8.3%</td></tr> <tr><td>上記以外の理由</td><td>8.0%</td></tr> <tr><td>安全安心と感じられない</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>知らない土地</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>自然環境が豊かでない</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table>	点	割合	家賃、土地の価格が高い	54.2%	買い物をする店が少ない・遠い	44.5%	交通の便が悪い	40.3%	医療・福祉サービスが充実していない	25.3%	教育・保育サービスが充実していない	18.5%	仕事がない	17.6%	まちの知名度が低い	12.6%	通勤・通学がしにくい	10.7%	転入者への助成制度が足りない	10.7%	近所のつきあい、地域活動が少ない	8.3%	わからない・特にな	8.3%	上記以外の理由	8.0%	安全安心と感じられない	4.7%	知らない土地	4.0%	無回答	1.0%	自然環境が豊かでない	0.0%				
点	割合																																						
家賃、土地の価格が高い	54.2%																																						
買い物をする店が少ない・遠い	44.5%																																						
交通の便が悪い	40.3%																																						
医療・福祉サービスが充実していない	25.3%																																						
教育・保育サービスが充実していない	18.5%																																						
仕事がない	17.6%																																						
まちの知名度が低い	12.6%																																						
通勤・通学がしにくい	10.7%																																						
転入者への助成制度が足りない	10.7%																																						
近所のつきあい、地域活動が少ない	8.3%																																						
わからない・特にな	8.3%																																						
上記以外の理由	8.0%																																						
安全安心と感じられない	4.7%																																						
知らない土地	4.0%																																						
無回答	1.0%																																						
自然環境が豊かでない	0.0%																																						
<p>あなたが、住む場所を検討する際に、重視する点は何ですか。(複数回答)</p> <p>(一般住民アンケート調査、問 12 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>点</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>買い物をする店の多さ、近さ</td><td>63.1%</td></tr> <tr><td>仕事がある</td><td>56.9%</td></tr> <tr><td>家賃、土地の価格</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>交通の便がよい</td><td>52.4%</td></tr> <tr><td>安全安心な場所</td><td>52.1%</td></tr> <tr><td>医療・福祉サービスの充実度</td><td>42.4%</td></tr> <tr><td>自然環境が豊かな</td><td>36.5%</td></tr> <tr><td>通勤・通学の利便性</td><td>36.5%</td></tr> <tr><td>教育・保育サービスの充実度</td><td>32.0%</td></tr> <tr><td>近所のつきあい、地域活動の活発さ</td><td>14.5%</td></tr> <tr><td>転入者への助成制度</td><td>10.6%</td></tr> <tr><td>生まれ育った土地</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>まちの知名度</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>わからない・特にな</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>上記以外の理由</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.3%</td></tr> </tbody> </table>	点	割合	買い物をする店の多さ、近さ	63.1%	仕事がある	56.9%	家賃、土地の価格	53.8%	交通の便がよい	52.4%	安全安心な場所	52.1%	医療・福祉サービスの充実度	42.4%	自然環境が豊かな	36.5%	通勤・通学の利便性	36.5%	教育・保育サービスの充実度	32.0%	近所のつきあい、地域活動の活発さ	14.5%	転入者への助成制度	10.6%	生まれ育った土地	5.4%	まちの知名度	4.7%	わからない・特にな	2.8%	上記以外の理由	1.4%	無回答	0.3%				
点	割合																																						
買い物をする店の多さ、近さ	63.1%																																						
仕事がある	56.9%																																						
家賃、土地の価格	53.8%																																						
交通の便がよい	52.4%																																						
安全安心な場所	52.1%																																						
医療・福祉サービスの充実度	42.4%																																						
自然環境が豊かな	36.5%																																						
通勤・通学の利便性	36.5%																																						
教育・保育サービスの充実度	32.0%																																						
近所のつきあい、地域活動の活発さ	14.5%																																						
転入者への助成制度	10.6%																																						
生まれ育った土地	5.4%																																						
まちの知名度	4.7%																																						
わからない・特にな	2.8%																																						
上記以外の理由	1.4%																																						
無回答	0.3%																																						
<p>あなたが、住む場所を決めたり、住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスは何ですか。(複数回答)</p> <p>(一般住民アンケート調査、問 13 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行政サービス</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>子育て世代への税制優遇や補助金</td><td>46.5%</td></tr> <tr><td>医療費無料制度</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>保育所・学童保育の充実</td><td>41.3%</td></tr> <tr><td>住居に関する不動産情報の提供</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>転入者に対する税制優遇や補助金</td><td>33.9%</td></tr> <tr><td>地域資源を生かした自然とふれあう教育</td><td>17.8%</td></tr> <tr><td>地域コミュニティの充実</td><td>16.8%</td></tr> <tr><td>転入に関する相談窓口</td><td>14.5%</td></tr> <tr><td>大規模商業施設の誘致</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>二世帯住宅、三世帯同居などへの助成</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>移住歓迎パンフレット</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>住宅開発</td><td>9.7%</td></tr> <tr><td>定住促進専用のホームページ</td><td>7.1%</td></tr> <tr><td>ブランド力や特徴のある教育機関の有無</td><td>7.1%</td></tr> <tr><td>町民団体活動、地域活動の支援</td><td>6.9%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>6.4%</td></tr> <tr><td>農業体験等が簡単にできる仕組み</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3.6%</td></tr> </tbody> </table>	行政サービス	割合	子育て世代への税制優遇や補助金	46.5%	医療費無料制度	41.5%	保育所・学童保育の充実	41.3%	住居に関する不動産情報の提供	34.9%	転入者に対する税制優遇や補助金	33.9%	地域資源を生かした自然とふれあう教育	17.8%	地域コミュニティの充実	16.8%	転入に関する相談窓口	14.5%	大規模商業施設の誘致	13.8%	二世帯住宅、三世帯同居などへの助成	11.2%	移住歓迎パンフレット	11.2%	住宅開発	9.7%	定住促進専用のホームページ	7.1%	ブランド力や特徴のある教育機関の有無	7.1%	町民団体活動、地域活動の支援	6.9%	無回答	6.4%	農業体験等が簡単にできる仕組み	3.8%	その他	3.6%
行政サービス	割合																																						
子育て世代への税制優遇や補助金	46.5%																																						
医療費無料制度	41.5%																																						
保育所・学童保育の充実	41.3%																																						
住居に関する不動産情報の提供	34.9%																																						
転入者に対する税制優遇や補助金	33.9%																																						
地域資源を生かした自然とふれあう教育	17.8%																																						
地域コミュニティの充実	16.8%																																						
転入に関する相談窓口	14.5%																																						
大規模商業施設の誘致	13.8%																																						
二世帯住宅、三世帯同居などへの助成	11.2%																																						
移住歓迎パンフレット	11.2%																																						
住宅開発	9.7%																																						
定住促進専用のホームページ	7.1%																																						
ブランド力や特徴のある教育機関の有無	7.1%																																						
町民団体活動、地域活動の支援	6.9%																																						
無回答	6.4%																																						
農業体験等が簡単にできる仕組み	3.8%																																						
その他	3.6%																																						

<p>あなたが（将来的に）仕事を選択する上で何を重視しますか。（複数回答）</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 16-1 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重視する点</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>給与</td><td>75.5%</td></tr> <tr><td>仕事の内容・やりがい</td><td>64.4%</td></tr> <tr><td>休みの日数(有給休暇の取得など)</td><td>59.7%</td></tr> <tr><td>労働時間</td><td>54.9%</td></tr> <tr><td>職場の人間関係</td><td>48.5%</td></tr> <tr><td>将来性を感ずるか</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>福利・厚生</td><td>31.8%</td></tr> <tr><td>通勤時間</td><td>25.8%</td></tr> <tr><td>法令順守(パワハラ・セクハラがないなど)</td><td>24.5%</td></tr> <tr><td>業績の安定</td><td>23.6%</td></tr> <tr><td>介護・育児休業制度の有無</td><td>21.5%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>上記以外の理由</td><td>1.3%</td></tr> </tbody> </table>	重視する点	割合	給与	75.5%	仕事の内容・やりがい	64.4%	休みの日数(有給休暇の取得など)	59.7%	労働時間	54.9%	職場の人間関係	48.5%	将来性を感ずるか	34.8%	福利・厚生	31.8%	通勤時間	25.8%	法令順守(パワハラ・セクハラがないなど)	24.5%	業績の安定	23.6%	介護・育児休業制度の有無	21.5%	無回答	2.6%	上記以外の理由	1.3%
重視する点	割合																												
給与	75.5%																												
仕事の内容・やりがい	64.4%																												
休みの日数(有給休暇の取得など)	59.7%																												
労働時間	54.9%																												
職場の人間関係	48.5%																												
将来性を感ずるか	34.8%																												
福利・厚生	31.8%																												
通勤時間	25.8%																												
法令順守(パワハラ・セクハラがないなど)	24.5%																												
業績の安定	23.6%																												
介護・育児休業制度の有無	21.5%																												
無回答	2.6%																												
上記以外の理由	1.3%																												
<p>就労機会の向上等に向けて、倶知安町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。（複数回答）</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 17 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取り組み</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>不明</td><td>49.0%</td></tr> <tr><td>職場環境向上のための企業向け広報</td><td>35.3%</td></tr> <tr><td>ビジネススキル向上のためのセミナー</td><td>27.2%</td></tr> <tr><td>合同就職(転職)説明会</td><td>21.1%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>就労に関する相談窓口</td><td>16.8%</td></tr> <tr><td>起業支援</td><td>14.0%</td></tr> <tr><td>企業情報などの情報発信</td><td>12.3%</td></tr> <tr><td>求人・求職のマッチング</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>企業・事業所などと連携した職業体験</td><td>4.5%</td></tr> </tbody> </table>	取り組み	割合	不明	49.0%	職場環境向上のための企業向け広報	35.3%	ビジネススキル向上のためのセミナー	27.2%	合同就職(転職)説明会	21.1%	その他	19.6%	就労に関する相談窓口	16.8%	起業支援	14.0%	企業情報などの情報発信	12.3%	求人・求職のマッチング	6.6%	企業・事業所などと連携した職業体験	4.5%						
取り組み	割合																												
不明	49.0%																												
職場環境向上のための企業向け広報	35.3%																												
ビジネススキル向上のためのセミナー	27.2%																												
合同就職(転職)説明会	21.1%																												
その他	19.6%																												
就労に関する相談窓口	16.8%																												
起業支援	14.0%																												
企業情報などの情報発信	12.3%																												
求人・求職のマッチング	6.6%																												
企業・事業所などと連携した職業体験	4.5%																												
<p>あなたは、現在、お子さんが何人いますか。</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 23 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>子どもはいない</td><td>75.1%</td></tr> <tr><td>1人</td><td>12.6%</td></tr> <tr><td>2人</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>不明</td><td>4.3%</td></tr> <tr><td>3人</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>5人以上</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>4人</td><td>0.2%</td></tr> </tbody> </table>	回答	割合	子どもはいない	75.1%	1人	12.6%	2人	5.5%	不明	4.3%	3人	1.9%	5人以上	0.3%	4人	0.2%												
回答	割合																												
子どもはいない	75.1%																												
1人	12.6%																												
2人	5.5%																												
不明	4.3%																												
3人	1.9%																												
5人以上	0.3%																												
4人	0.2%																												
<p>将来的に何人のお子さんを持つ予定ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 24 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2人</td><td>51.4%</td></tr> <tr><td>3人</td><td>14.0%</td></tr> <tr><td>1人</td><td>11.8%</td></tr> <tr><td>子どもはいらない</td><td>11.4%</td></tr> <tr><td>不明</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>4人</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>5人以上</td><td>1.4%</td></tr> </tbody> </table>	回答	割合	2人	51.4%	3人	14.0%	1人	11.8%	子どもはいらない	11.4%	不明	8.7%	4人	1.4%	5人以上	1.4%												
回答	割合																												
2人	51.4%																												
3人	14.0%																												
1人	11.8%																												
子どもはいらない	11.4%																												
不明	8.7%																												
4人	1.4%																												
5人以上	1.4%																												
<p>あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 25 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2人</td><td>47.9%</td></tr> <tr><td>3人</td><td>28.2%</td></tr> <tr><td>子どもはいらない</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>不明</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>1人</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>4人</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>5人以上</td><td>1.6%</td></tr> </tbody> </table>	回答	割合	2人	47.9%	3人	28.2%	子どもはいらない	8.7%	不明	6.2%	1人	5.5%	4人	1.9%	5人以上	1.6%												
回答	割合																												
2人	47.9%																												
3人	28.2%																												
子どもはいらない	8.7%																												
不明	6.2%																												
1人	5.5%																												
4人	1.9%																												
5人以上	1.6%																												
<p>今後、育児に関するサービスとして、倶知安町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。</p> <p>（一般住民アンケート調査、問 28 より）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>無回答</td><td>45.0%</td></tr> <tr><td>幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充</td><td>15.7%</td></tr> <tr><td>各種助成をはじめとする金銭的サポートや現物給付</td><td>11.9%</td></tr> <tr><td>子どもを預かるサービスの時間の延長</td><td>7.8%</td></tr> <tr><td>子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>子育てにおける母子の保健・医療体制の充実</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2.2%</td></tr> <tr><td>行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>子育てに関する様々な講座・イベント、講演会の実施</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>子育てに関する総合的な相談体制の充実</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実</td><td>0.9%</td></tr> </tbody> </table>	サービス	割合	無回答	45.0%	幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充	15.7%	各種助成をはじめとする金銭的サポートや現物給付	11.9%	子どもを預かるサービスの時間の延長	7.8%	子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上	6.6%	子育てにおける母子の保健・医療体制の充実	5.4%	その他	2.2%	行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	2.1%	子育てに関する様々な講座・イベント、講演会の実施	1.4%	子育てに関する総合的な相談体制の充実	1.0%	子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	0.9%				
サービス	割合																												
無回答	45.0%																												
幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充	15.7%																												
各種助成をはじめとする金銭的サポートや現物給付	11.9%																												
子どもを預かるサービスの時間の延長	7.8%																												
子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上	6.6%																												
子育てにおける母子の保健・医療体制の充実	5.4%																												
その他	2.2%																												
行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	2.1%																												
子育てに関する様々な講座・イベント、講演会の実施	1.4%																												
子育てに関する総合的な相談体制の充実	1.0%																												
子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	0.9%																												

人口減少社会について、 あなたの考えとして最も 近いものは何ですか。 (一般住民アンケート調 査、問 29 より)	<p>人口減少は仕方ないので、不都合を改善していくべき 36.5%</p> <p>人口減少を食い止め、増加するように努力すべき 31.7%</p> <p>現状程度の人口を維持すべき 22.3%</p> <p>人口が減少してもしなくてもどちらでもよい 5.2%</p> <p>無回答 4.3%</p>
---	---

転出者アンケート調査の主な結果

転出することになった最も 大きなきっかけは何で すか。 (転出者アンケート調査、 問 10 より)	<p>転勤 56.8</p> <p>転職 14.4</p> <p>その他 6.8</p> <p>通勤・通学に便利ように 5.1</p> <p>就職 4.2</p> <p>結婚 3.4</p> <p>退職 2.5</p> <p>無回答 1.7</p> <p>親の都合 1.7</p> <p>住宅の建て替え 1.7</p> <p>子供の都合 0.8</p> <p>離婚 0.8</p>
倶知安町が住みやすかった と感じる点はどういつ た点ですか。(複数回答) (転出者アンケート調査、 問 14 より)	<p>自然環境が豊かな 69.5</p> <p>買い物をする店の多さ、近さ 34.7</p> <p>安全安心な場所 26.3</p> <p>通勤・通学の利便性 18.6</p> <p>仕事がある 16.9</p> <p>近所のつきあい、地域活動の活発さ 12.7</p> <p>交通の便がよい 11.0</p> <p>生まれ育った土地 9.3</p> <p>わからない・特にない 8.5</p> <p>上記ほかの理由 7.6</p> <p>まちの知名度 5.1</p> <p>医療・福祉サービスの充実度 4.2</p> <p>教育・保育サービスの充実度 3.4</p> <p>無回答 0.8</p> <p>移住者への助成制度 0.8</p> <p>家賃、土地の価格 0.8</p>
倶知安町が住みにくかった と感じる点はどういつ た点ですか。(複数回答) (転出者アンケート調査、 問 15 より)	<p>家賃、土地の価格が高い 44.9</p> <p>交通の便が悪い 39.0</p> <p>買い物をする店が少ない・遠い 29.7</p> <p>医療・福祉サービスが充実していない 24.6</p> <p>上記ほかの理由 16.9</p> <p>教育・保育サービスが充実していない 13.6</p> <p>わからない・特にない 11.0</p> <p>近所のつきあい、地域活動が少ない 11.0</p> <p>仕事がない 11.0</p> <p>移住者への助成制度が足りない 6.8</p> <p>安全安心と感じられない 6.8</p> <p>見知らぬ土地 5.1</p> <p>通勤・通学がしにくい 4.2</p> <p>無回答 2.5</p> <p>まちの知名度が低い 1.7</p> <p>自然環境が豊かでない 0.8</p>

<p>倶知安町の居住者を増やすため、今後どのような移住・定住支援策に取り組んだらいいと思われますか。 (複数回答)</p> <p>(転出者アンケート調査、問 16 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援策</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出産や子育て等に対する各種支援の充実</td> <td>42.4</td> </tr> <tr> <td>緊急時にも安心してくらせる医療機関の充実</td> <td>41.5</td> </tr> <tr> <td>町内の居住可能な空き家を紹介する「空き家バンク」的な制度の充実</td> <td>37.3</td> </tr> <tr> <td>子供たちの教育環境の充実</td> <td>30.5</td> </tr> <tr> <td>就職・求人情報の提供の充実</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>バスなど町内を移動するための交通の利便性の充実</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>転入者が住宅を新築・改善する際の費用の一部を補助する制度</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるような高齢者福祉の充実</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>倶知安町の特色の活用</td> <td>15.3</td> </tr> <tr> <td>起業支援の充実</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>緊急時や地震等に対する防災対策の充実</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.6</td> </tr> </tbody> </table>	支援策	割合 (%)	出産や子育て等に対する各種支援の充実	42.4	緊急時にも安心してくらせる医療機関の充実	41.5	町内の居住可能な空き家を紹介する「空き家バンク」的な制度の充実	37.3	子供たちの教育環境の充実	30.5	就職・求人情報の提供の充実	23.7	バスなど町内を移動するための交通の利便性の充実	23.7	転入者が住宅を新築・改善する際の費用の一部を補助する制度	23.7	高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるような高齢者福祉の充実	22.0	倶知安町の特色の活用	15.3	起業支援の充実	13.6	緊急時や地震等に対する防災対策の充実	9.3	無回答	7.6	その他	7.6
支援策	割合 (%)																												
出産や子育て等に対する各種支援の充実	42.4																												
緊急時にも安心してくらせる医療機関の充実	41.5																												
町内の居住可能な空き家を紹介する「空き家バンク」的な制度の充実	37.3																												
子供たちの教育環境の充実	30.5																												
就職・求人情報の提供の充実	23.7																												
バスなど町内を移動するための交通の利便性の充実	23.7																												
転入者が住宅を新築・改善する際の費用の一部を補助する制度	23.7																												
高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるような高齢者福祉の充実	22.0																												
倶知安町の特色の活用	15.3																												
起業支援の充実	13.6																												
緊急時や地震等に対する防災対策の充実	9.3																												
無回答	7.6																												
その他	7.6																												
<p>また倶知安町に住みたいと思いますか。</p> <p>(転出者アンケート調査、問 17 より)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住みたいと思う</td> <td>50.8</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>35.6</td> </tr> <tr> <td>住みたいと思わない</td> <td>13.6</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合 (%)	住みたいと思う	50.8	わからない	35.6	住みたいと思わない	13.6																				
回答	割合 (%)																												
住みたいと思う	50.8																												
わからない	35.6																												
住みたいと思わない	13.6																												

2. 将来展望に関する現状認識について

これまで、年少人口の減少が続き、少子化が進行しながらも、人口が極端に減少しなかった大きな理由は、年少人口の低下を埋めるだけの要因、いわゆる団塊の世代という大きな人口の塊があったためです。その人口貯金ともいえる状況が、使い果たされたことが明らかになったのが、日本全体においては、2008年といわれ、この年を境に日本の総人口は、減少局面に入りました。

倶知安町の総人口は、1980年に18,893人でしたが、一貫して人口減少し続けています。1995年～2000年に年少人口と高齢人口比率の逆転がおき、人口構成が変化しながら、少子化、高齢化も進展しています。

人口減少の進行によって、単に人口が減少していくだけでなく、人口構成そのものが大きく変化します。低い出生率が続き、少子化が進行する中で、生産年齢人口も減少し、平均寿命の伸長もあいまって急速に高齢化が進んでいきます。

人口減少に伴い、国内の経済市場規模の縮小や労働力人口の減少を通じた経済のマイナス成長、世界経済における立場の相対的低下、高齢者の増加化の進行と若年層の減少に伴い、年金、医療、介護など社会保障における現役世代の負担が増大することによる、国民の生活水準の低下が指摘されています。また、商業施設や医療機関などの生活関連サービスやバスなどの地域公共交通の縮小・撤退による地域社会・暮らしへの影響などマイナスの影響が考えられます。

一方、人口が減少することで、水や食糧、エネルギーの消費量が減り、環境負荷が低減されるほか、住宅や土地、交通混雑などの過密状況が改善されるなどの影響も考えられます。家族の姿も大きく変わり、将来の平均世帯人員や世帯総数が減少する一方で、世帯主が65歳以上の高齢世帯や、高齢者単身世帯は増加することが見込まれています。

倶知安町においては、社会増減の影響が大きいと考えられます。転出を抑え、より住みやすい町づくりの必要があります。また、子育て期にあたる20～39歳女性人口の転入を促す、自然増減・社会増減の両面に対する施策に取り組む必要があると考えられます。

検討中

3. 人口減少の克服を目指す取組の方向性

人口減少は、明日からの生活に直ちに大きな影響はなくとも、今後の経済・暮らしの様々な面に影響を与える可能性があります。その人口減少社会が深刻な状況に至る前に、できるだけ早期に人口減少に歯止めをかけること、また、当面の人口減少の進行と人口構造の変化を前提に、社会の仕組みを捉え直すことを考えていく必要があります。

大切なことは、この現実を漫然と受け止めるのではなく、これから、どのように暮らし、どのような地域をつくりたいのかということを発想し、取り組んでいくことです。俱知安町においても、地域ごとに異なる人口減少の状況や課題を踏まえ、強みや特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

そのために、まち・ひと・しごと創生を一体的に推進し、以下の3つ方向性で進めていきます。

（１）人口減少に歯止めをかける

生産年齢人口の層と幅を増やすために、元気な高齢者にも参加してもらい、俱知安町の持つ魅力に磨きをかけるとともに、新しい仕事の創造と現状足りていない仕事分野へより手当てし、子育ても含め、各現場が孤立しないグループを整備して、次の世代へ続けていく。

（２）若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備

人口減少を克服し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、社会移動（転入・転出）を均衡させるとともに、切れ目のない支援により、住民が安心して働き、若者が希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境を実現する。

（３）自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。

人口減少・少子高齢社会を迎えるなか、活力あるまちであり続けるため、地域が直面する課題を解決し、住民が将来にわたって安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちを実現する。

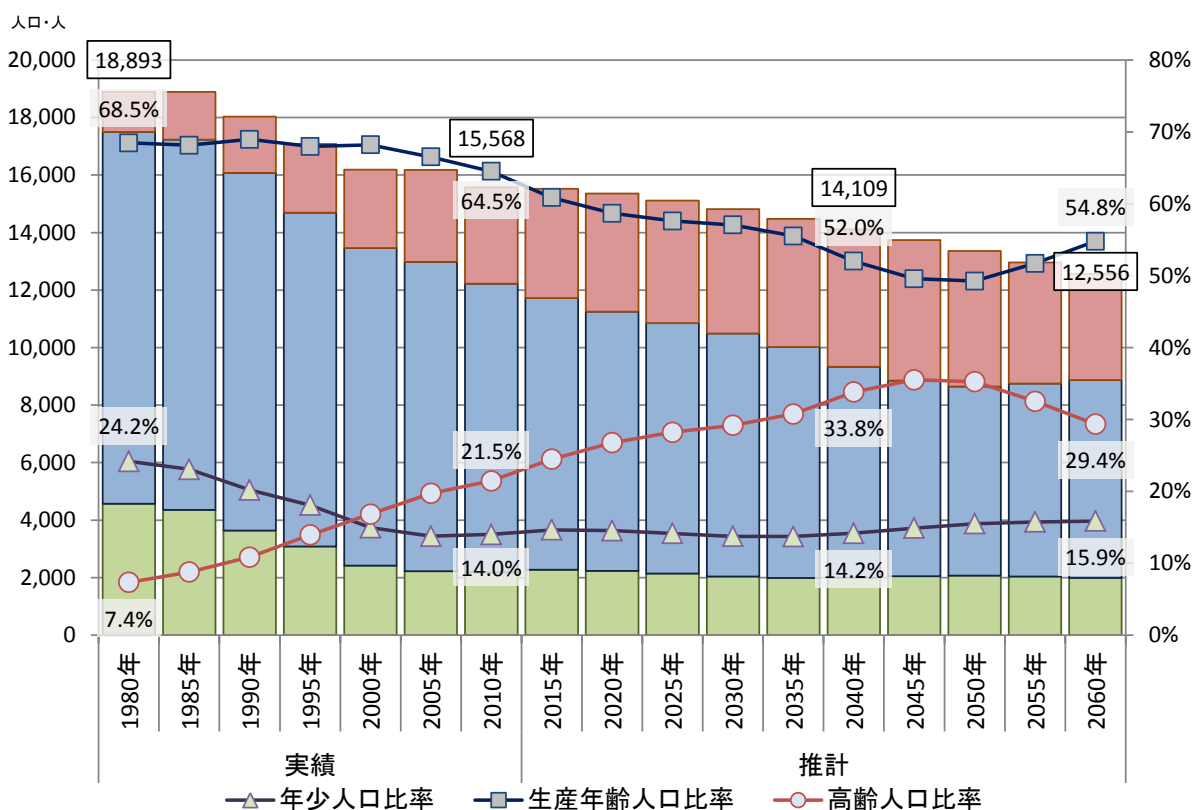
検討中

4. 人口の将来展望

国の長期ビジョンと北海道のまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ目標としながら、倶知安町の人口に関する推計分析等、アンケート調査結果及び目指す取組の方向性等を考慮し、目標とする人口規模を展望します。

将来推計を考える上で、社会移動ありで考えることが現実的と考えますが、効果的な施策を講じることで、倶知安町では、社会移動ゼロと考え「出生率が2040年に2.07（人口置換水準）」水準まで向上することを目標とします。

人口の将来展望（年齢3区分別人口及び割合）



倶知安町の様々な施策と人口対策の効果が十分実現すれば、若い世代の結婚が促進し、出産・子育ての希望が実現し、出生率が2040年に2.07へ上昇すると想定しています。

また、社会増減についてはすでに転入超過の年もあり、今後は概して均衡するものと考えます。これにより緩やかな人口減少と年齢構成のバランス維持により高齢化率も2045年にピークを迎えたあと、2060年には29.4%になると想定されます。

検討中